

# 一般演題

■日時：11月30日(木)9:00～10:10

■会場：日本教育会館(A会場)

## 抗HIV療法 I

座長 山元 泰之

(東京医科大学 臨床検査医学科)

O-001 当センターにおける抗HIV療法の年次推移について  
永井聡子<sup>1)</sup>、吉野宗宏<sup>1)</sup>、桑原 健<sup>1)</sup>、下司有加<sup>2)</sup>、  
織田幸子<sup>2)</sup>、笹川 淳<sup>3)</sup>、牧江俊雄<sup>3)</sup>、山本善彦<sup>3)</sup>、  
上平朝子<sup>3)</sup>、白阪琢磨<sup>3)</sup>

- 1)独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科
- 2)独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 看護科
- 3)独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 免疫感染症科

O-002 当院での新規抗HIV薬の変遷とd4T投与者の経過について

矢崎博久、近江恭子、松村次郎、神村麻穂子、  
渡辺恒二、渡辺珠代、本田元人、中村匡宏、  
阿部泰尚、田沼順子、本田美和子、源河いくみ、  
瀧永博之、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、  
岡 慎一

国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター

O-003 服薬援助のための基礎的調査－抗HIV薬の  
組合せ調査(2006年)－

日笠 聡<sup>1)</sup>、桑原 健<sup>1)</sup>、小島賢一<sup>2)</sup>、乃村万里<sup>3)</sup>、  
堀 成美<sup>3)</sup>、山元泰之<sup>2)</sup>

- 1)関西HIV臨床カンファレンス
- 2)東京HIV診療ネットワーク
- 3)HIV/AIDS看護学会

O-004 服薬援助のための基礎的調査－抗HIV薬の  
薬剤変更状況調査(2006年)－

小島賢一<sup>1)</sup>、桑原 健<sup>4)</sup>、乃村万里<sup>3)</sup>、日笠 聡<sup>4)</sup>、  
堀 成美<sup>3)</sup>、山元泰之<sup>2)</sup>

- 1)荻窪病院 血液科
- 2)東京HIV診療ネットワーク
- 3)HIV/AIDS看護研究会
- 4)関西HIV臨床カンファレンス

O-005 拠点病院における抗HIV療法と薬剤関連ア  
ンケート調査結果(第三報)

桑原 健<sup>1)</sup>、吉野宗宏<sup>1)</sup>、佐野俊彦<sup>2)</sup>、小島賢一<sup>3)</sup>、  
日笠 聡<sup>4)</sup>、白阪琢磨<sup>5)</sup>

- 1)独立行政法人国立病院機構大阪医療センター薬剤科
- 2)東京都立駒込病院薬剤科
- 3)荻窪病院血液科
- 4)兵庫医科大学血液内科
- 5)独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS  
先端医療センター

O-006 初診時からHAART導入までの時間分布で  
みる患者構成

牧江俊雄、笹川 淳、富成伸次郎、椎木創一、  
渡辺 大、河村紀代美、上平朝子、山本善彦、  
白阪琢磨

独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 免疫・感染症科

O-007 血球成分を加えたHAART導入の決定因子  
の解析

牧江俊雄、笹川 淳、富成伸次郎、椎木創一、  
渡辺 大、河村紀代美、上平朝子、山本善彦、  
白阪琢磨

独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 免疫・感染症科

■日時：11月30日(木)10:20～11:30

■会場：日本教育会館(A会場)

## 抗HIV療法 II

座長 花房 秀次

(荻窪病院 血液科)

O-008 当院における抗HIV薬1日1回療法の臨  
床的有用性についての検討

藤澤文絵<sup>1)</sup>、橋野 聡<sup>1)</sup>、近藤 健<sup>1)</sup>、藤本勝也<sup>2)</sup>、  
佐藤典宏<sup>3)</sup>、田中淳司<sup>4)</sup>、渡部恵子<sup>5)</sup>、大野稔子<sup>5)</sup>、  
今村雅寛<sup>4)</sup>、小池隆夫<sup>2)</sup>、浅香正博<sup>1)</sup>

- 1)北海道大学大学院医学研究科 病態内科学講座 第三内科
- 2)北海道大学大学院医学研究科 病態内科学講座 第二内科
- 3)北海道大学病院 輸血部
- 4)北海道大学大学院医学研究科 癌診断治療学講座 血液内科学分野
- 5)北海道大学病院 看護部

O-009 当院におけるエムトリシタピン使用症例の検討  
山本善彦<sup>1)</sup>、吉野宗宏<sup>2)</sup>、牧江俊雄<sup>1)</sup>、上平朝子<sup>1)</sup>、  
笹川 淳<sup>1)</sup>、永井聡子<sup>2)</sup>、桑原 健<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>1)</sup>

- 1)国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター
- 2)薬剤科

O-010 当院におけるテノホビルDF/エムトリシタ  
ピン合剤投与例についての検討

小澤幸子<sup>1)</sup>、高山義浩<sup>2)</sup>、小林智子<sup>3)</sup>、岡田邦彦<sup>4)</sup>

- 1)佐久総合病院総合診療科
- 2)佐久総合病院総合診療科
- 3)佐久総合病院総合診療科
- 4)佐久総合病院総合診療科

# 一般演題

## O-011 Atazanavir を key drug とした HAART の 2 年間の治療効果について

神村麻穂子、渡辺恒二、中村匡宏、近江恭子、松村次郎、渡辺珠代、本田元人、阿部泰尚、矢崎博久、田沼順子、本田美和子、湯永博之、源河いくみ、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

## O-012 アタナザピルの使用経験について

白阪琢磨<sup>1)</sup>、吉野宗宏<sup>2)</sup>、永井聡子<sup>2)</sup>、笹川 淳<sup>3)</sup>、富成伸次郎<sup>3)</sup>、椎木創一<sup>3)</sup>、渡邊 大<sup>3)</sup>、牧江俊雄<sup>3)</sup>、山本善彦<sup>3)</sup>、下司有加<sup>4)</sup>、織田幸子<sup>4)</sup>、桑原 健<sup>2)</sup>、上平朝子<sup>3)</sup>

1) 国立病院機構 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

2) 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科

3) 国立病院機構 大阪医療センター 免疫感染症科

4) 国立病院機構 大阪医療センター 看護部

## O-013 当科におけるアタザナピルの治療成績

田村 睦、尾形享一、加藤宏基、山中 晃、山元泰之、福武勝幸

東京医科大学臨床検査医学講座

## O-014 硫酸アナタザピルを含む HAART への切り替え症例についての検討

小林智子、高山義浩、小澤幸子、岡田邦彦、佐久総合病院総合診療科

■日時：11月30日(木)9:00～10:10

■会場：日本教育会館 (B 会場)

## 複製阻害因子

座長 岡本 尚

(名古屋市立大学大学院医学研究科)

## O-015 Potent and selective inhibition of Tat-dependent human immunodeficiency virus type 1 replication in chronically infected cells by a novel naphthalene derivative

王 欣<sup>1)</sup>、山高一修<sup>2)</sup>、岡本実佳<sup>1)</sup>、池田 了<sup>2)</sup>、馬場昌範<sup>1)</sup>

1) 鹿児島大学歯医学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター抗ウイルス化学療法研究分野

2) 日本たばこ産業(株) 医薬総合研究所

## O-016 メシル酸カモスタットの HIV 慢性感染細胞株に対するウイルス複製開始抑制効果の検討

土肥名月、原田直明、岡嶋研二

名古屋市立大学大学院医学研究科生体防御学

## O-017 Statin-induced Inhibition of HIV-1 release from latently Infected U1 cells reveals a critical role for protein prenylation

AmetTohti<sup>1)</sup>、齊 暁華<sup>1)</sup>、山本直樹<sup>2)</sup>、山岡昇司<sup>1)</sup>

1) 東京医科歯科大学ウイルス制御学

2) 国立感染症研究所エイズ研究センター

## O-018 プロリルイソメラーゼ Pin 1 は HIV-1 の複製を負に制御する

大庭賢二<sup>1)</sup>、梁 明秀<sup>2)</sup>、

DewanMd.Zahidunnabi<sup>1)</sup>、山本直樹<sup>3)</sup>

1) 東京医科歯科大学大学院 歯医学総合研究科 ウイルス制御学

2) 横浜市立大学医学研究科 分子病理学

3) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

## O-019 HIV-1 Vpr と Importin $\alpha$ の結合を標的とする新規抗 HIV-1 薬の開発

鈴木辰徳<sup>1)</sup>、山本典生<sup>2)</sup>、山本直樹<sup>2)</sup>、間 陽子<sup>1)</sup>

1) 理化学研究所 中央研究所

2) 東京医科歯科大学大学院 ウイルス制御

## O-020 Phage Polymerase により合成された shRNA による HIV-1 抑制効果とサイドリアクションの検討

権代拓麻<sup>1)</sup>、山口和也<sup>1)</sup>、黒崎直子<sup>2)</sup>、高久 洋<sup>2)</sup>

1) 千葉工大 工 生命環境科学

2) 千葉工大 工 生命環境科学、ハイテクリサーチセンター

## O-021 Ribonuclease 誘導型ガイド RNA 発現レンチウイルスベクターによる HIV-1 抑制

羽生勇一郎<sup>1)</sup>、木下幸一<sup>2)</sup>、杉山隆一<sup>2)</sup>、堀 正樹<sup>2)</sup>、黒崎直子<sup>3)</sup>、高久 洋<sup>3)</sup>

1) 千葉工業大学ハイテクリサーチセンター、財団法人エイズ予防財団

2) 千葉工業大学工学部生命環境科学科

3) 千葉工業大学工学部生命環境科学科、千葉工業大学ハイテクリサーチセンター

# 一般演題

■日時：11月30日(木)10:20～11:30

■会場：日本教育会館（B会場）

## 膜融合阻害薬・中和抗体

座長 松下 修三

(熊本大学エイズ学研究センター 病態制御分野)

### O-022 新規 CXCR4 アンタゴニスト KRH-3166

は経口投与可能な高活性抗 HIV-1 剤である  
村上 努<sup>1)</sup>、大隈 和<sup>2)</sup>、熊倉 成<sup>3)</sup>、田中礼子<sup>2)</sup>、  
谷中幹郎<sup>3)</sup>、田中勇悦<sup>2)</sup>、山本直樹<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研・エイズ研究センター

2) 琉大・院医・免疫

3) 株式会社クレハ・生物医学研究所

### O-023 新規 CCR5 拮抗薬 TAK-652 に対する耐性 HIV-1 の誘導とその解析

馬場昌範<sup>1)</sup>、王 欣<sup>1)</sup>、岡本実佳<sup>1)</sup>、高島勝典<sup>2)</sup>

1) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・難治ウイルス病態制御研究センター

2) 武田薬品工業株式会社・医薬研究本部

### O-024 膜融合阻害ペプチド N36 に対する耐性 HIV の誘導と解析

泉 和樹<sup>1)</sup>、児玉栄一<sup>1)</sup>、藤井信孝<sup>2)</sup>、松岡雅雄<sup>1)</sup>

1) 京都大学ウイルス研究所 附属エイズ研究施設 感染免疫研究領域

2) 京都大学薬学部 薬学研究科 薬品有機製造学分野

### O-025 HIV を中和する抗体の作用機序の解析

原田信志、門出和精、前田洋助、遊佐敬介

熊本大学大学院医学薬学研究部感染防御

### O-026 血友病患者におけるエイズ長期未発症例における高価価中和抗体の存在と標的部位の同定

浜武牧子<sup>1)</sup>、浦野恵美子<sup>1)</sup>、花房秀次<sup>2)</sup>、加藤真吾<sup>3)</sup>、

TeeKokKeng<sup>1)</sup>、武部 豊<sup>1)</sup>、山本直樹<sup>1)</sup>、

駒野 淳<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター

2) 荻窪病院 小児科血液科

3) 慶應義塾大学 医学部 微生物学・免疫学教室

### O-027 In vitro における抗 HIV-1 中和単クローン抗体とその他の薬剤との相互作用の研究

吉村和久、柴田潤二、小糸 厚、松下修三

熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野

### O-028 甘遂（カンツイ）由来の新規テルペノイド誘導体の抗 HIV 活性の検討

長縄 聰<sup>1)</sup>、菱山和義<sup>2)</sup>、松崎圭一<sup>2)</sup>、

相澤・小峯志保子<sup>1)</sup>、真島洋子<sup>1)</sup>、北村勝彦<sup>3)</sup>、

北中 進<sup>2)</sup>、早川 智<sup>1)</sup>

1) 日本大学医学部先端医学講座感染制御部門

2) 日本大学薬学部

3) 横浜市立大学医学部社会予防医学

■日時：11月30日(木)9:00～10:00

■会場：日本教育会館（C会場）

## 予防啓発の実際 I

座長 岩室 紳也

(社) 地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター)

### O-029 大学祭における HIV 予防活動参加者の特徴と予防効果に関する検討

中西孝枝、杉本奈津子、徳久義治、本多由美、

波多江百百子、山田 治

山口大学医学部

### O-030 予防介入提供者の知識・意欲・行動変容に関する検討

徳久義治、杉本奈津子、中西孝枝、本多由美、

波多江百百子、山田 治

山口大学医学部

### O-031 大学生の自尊心に訴える「RESPECT」キャンペーンの可能性

吉田智子、高柳ユミ、廣岡 直、渡邊文隆

RESPECT キャンペーン

### O-032 NGO と行政・学生が協働した若者への AIDS 予防啓発の試み

福島由美<sup>1)</sup>、井上尚子<sup>2)</sup>、池田朋子<sup>3)</sup>、北村紀代子<sup>4)</sup>、

河野章人<sup>5)</sup>

1) 人権と共生を考える エイズ・ワーカーズ・福岡

2) 人権と共生を考える エイズ・ワーカーズ・福岡

3) 人権と共生を考える エイズ・ワーカーズ・福岡

4) 人権と共生を考える エイズ・ワーカーズ・福岡

5) 人権と共生を考える エイズ・ワーカーズ・福岡

### O-033 ボランティア活動を通じた HIV/AIDS に関する理解の促進～7thICAAP の経験から～

北村広美<sup>1)</sup>、宇野賀津子<sup>2)</sup>、鬼塚哲郎<sup>3)</sup>、

池上正仁<sup>4)</sup>

1) 多文化共生センターひょうご / 大阪大学大学院人間科学研究科

2) 財団法人ルイ・バスツール医学研究センター

3) MASH 大阪 / 京都産業大学

4) HIV と人権・情報センター

# 一般演題

O-034 エイズを考えると今こそ、知識の普及と、啓発活動のサポート強化を目指すときー  
竹内 潔  
北海学園大学

■日時：11月30日(木)10:10～11:00  
■会場：日本教育会館(C会場)

## 予防啓発の実際 II

座長 川田 龍平  
(松本大学)

O-035 北陸ブロックにおける NGO の役割  
今井由三代<sup>1)</sup>、中崎しげ子<sup>1)</sup>、吉田真知子<sup>1)</sup>、  
西田和子<sup>1)</sup>、山下美津江<sup>2)</sup>、山田三枝子<sup>3)</sup>、  
北志保里<sup>3)</sup>、辻 典子<sup>3)</sup>、正兼亜季<sup>3)</sup>、上田幹夫<sup>2)</sup>  
1)北陸 HIV 情報センター  
2)石川県立中央病院  
3)石川県立中央病院(財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント)

O-036 滞日ブラジル国籍住民の HIV 性感染リスク  
行動とその関連要因  
岩木エリーザ<sup>1)</sup>、小堀栄子<sup>2)</sup>、木原雅子<sup>2)</sup>、  
木原正博<sup>2)</sup>  
1)特定非営利活動法人 CRIATIVOS - HIV-STD 関連支援センター  
2)京都大学大学院医学研究科社会疫学分野

O-037 地域・学校・家庭が支える高校生への HIV/  
STD 予防教育の評価  
永松美雪<sup>1)</sup>、武富弥栄子<sup>2)</sup>、五十嵐雄道<sup>1)</sup>、  
佐藤 武<sup>2)</sup>  
1)佐賀大学 大学院 医学系研究科(博士課程)  
2)佐賀大学 保健管理センター

O-038 アサーション(自分の意思を適切に伝える  
側面)に注目して実施した高校生へのエイ  
ズ性教育について  
高田知恵子  
創造学園大学ソーシャルワーク学部ソーシャルワーク学科

O-039 HIV 予防介入プログラムに対する評価の  
あり方について～RCT を用いた文献のレ  
ビューの結果より～  
竹原健二<sup>1)</sup>、松田智大<sup>2)</sup>、児玉知子<sup>3)</sup>  
1)筑波大学大学院人間総合科学研究科  
2)国立がんセンター情報研究部  
3)国立保健医療科学院政策科学部

■日時：11月30日(木)9:00～10:00  
■会場：日本教育会館(D会場)

## 母子感染

座長 源河 いくみ  
(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

O-040 わが国における HIV 母子感染の現況 ー小  
児科施設への全国アンケート調査からー  
尾崎由和<sup>1)</sup>、外川正生<sup>2)</sup>、葛西健郎<sup>2)</sup>、大場 悟<sup>2)</sup>、  
國方徹也<sup>2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>、榎本てる子<sup>2)</sup>、井村総一<sup>2)</sup>、  
戸谷良造<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>、和田裕一<sup>2)</sup>、塚原優己<sup>2)</sup>、  
稲葉憲之<sup>2)</sup>  
1)国立病院機構大阪医療センター小児科  
2)平成18年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事  
業「周産期・小児・生殖医療における HIV 感染対策に関す  
る集学的研究」班

O-041 妊娠女性に対する HIV スクリーニング検査  
の現状  
吉野直人<sup>1)</sup>、和田裕一<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>、蓮尾泰之<sup>2)</sup>、  
林 公一<sup>2)</sup>、矢永由里子<sup>2)</sup>、高橋尚子<sup>2)</sup>、鈴木智子<sup>2)</sup>、  
塚原優己<sup>2)</sup>、外川正生<sup>2)</sup>、戸谷良造<sup>2)</sup>、稲葉憲之<sup>2)</sup>  
1)岩手医科大学医学部細菌学講座  
2)平成18年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事  
業「周産期・小児・生殖医療における HIV 感染対策に関す  
る集学的研究」班

O-042 拳児希望する HIV 感染者夫婦への対応時の  
問題点について  
高嶋能文<sup>1)</sup>、岡田直樹<sup>1)</sup>、奈良妙美<sup>1)</sup>、堀越泰雄<sup>1)</sup>、  
三間屋純一<sup>1)</sup>、紅林洋子<sup>2)</sup>、高橋定子<sup>3)</sup>、松浦芳子<sup>4)</sup>、  
加藤光剛<sup>4)</sup>、鈴木貴也<sup>5)</sup>、塚本道子<sup>6)</sup>  
1)静岡県立こども病院 血液腫瘍科  
2)静岡県立こども病院 指導相談室  
3)静岡県立こども病院 看護部  
4)静岡県立こども病院 歯科  
5)静岡県立こども病院 薬剤室  
6)静岡県立こども病院 臨床病理科

O-043 母子感染予防における AZT 血中濃度  
木内 英<sup>1)</sup>、岩室紳也<sup>2)</sup>、近藤真規子<sup>3)</sup>、今井光信<sup>3)</sup>、  
花房秀次<sup>1)</sup>、加藤真吾<sup>4)</sup>  
1)荻窪病院血液科  
2)厚木市立病院泌尿器科  
3)神奈川県衛生研究所微生物部  
4)慶應義塾大学医学部微生物学免疫学教室

# 一般演題

## O-044 母子感染成立を強く危惧した HIV 感染妊娠の2症例

岡崎隆行<sup>1)</sup>、林田志峯<sup>1)</sup>、根岸正実<sup>1)</sup>、池田綾子<sup>1)</sup>、庄田亜紀子<sup>1)</sup>、西川正能<sup>1)</sup>、大島教子<sup>1)</sup>、吉田 敦<sup>2)</sup>、太田順子<sup>1)</sup>、深澤一雄<sup>1)</sup>、渡辺 博<sup>1)</sup>、稲葉憲之<sup>1)</sup>

1) 獨協医科大学 産婦人科  
2) 獨協医科大学 感染総合対策部

## O-045 母子感染予防対策施行後に児末梢血白血球中に微量の HIV-1 DNA が検出されたが、感染には至らなかった1例

星野 伸<sup>1)</sup>、村松友佳子<sup>1)</sup>、永井裕美<sup>2)</sup>、井上孝実<sup>3)</sup>、瀧本哲也<sup>1)</sup>、金田次弘<sup>3)</sup>、堀部敬三<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 小児科  
2) 同 臨床研究センター  
3) 同 産婦人科

■日時：11月30日(木)10:10～11:40

■会場：日本教育会館 (D会場)

### 即日検査

座長 大竹 徹

(大阪府立公衆衛生研究所 ウィルス課)

## O-046 イムノクロマト法のロット間差に関する検討

長島真美、貞升健志、新開敬行、吉田靖子、山田澄夫

東京都健康安全研究センター微生物部

## O-047 東京都の HIV 検査におけるイムノクロマト法偽陰性例について

新開敬行、貞升健志、長島真美、吉田靖子、山田澄夫

東京都健康安全研究センター微生物部

## O-048 IC 法において陰性を示した3例の HIV 感染初期例

川畑拓也<sup>1)</sup>、小島洋子<sup>1)</sup>、森 治代<sup>1)</sup>、大竹 徹<sup>1)</sup>、大國 剛<sup>2)</sup>

1) 大阪府立公衆衛生研究所ウィルス課  
2) 大國診療所

## O-049 新しい HIV 迅速抗体検査キットの検討

嶋 貴子<sup>1)</sup>、近藤真規子<sup>1)</sup>、須藤弘二<sup>1)</sup>、相楽裕子<sup>2)</sup>、今井光信<sup>1)</sup>

1) 神奈川県衛生研究所  
2) 横浜市立市民病院

## O-050 NLGRにおける無料 HIV 検査会 6年間のまとめ

多和田行男<sup>1)</sup>、佐藤克彦<sup>2)</sup>、森下高行<sup>3)</sup>、藤崎誠一郎<sup>4)</sup>、伊部史郎<sup>4)</sup>、横幕能行<sup>5)</sup>、濱口元洋<sup>5)</sup>、内海 真<sup>6)</sup>、市川誠一<sup>7)</sup>

1) 名古屋医療センター  
2) 愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課  
3) 愛知県食品衛生検査所  
4) 名古屋医療センター 臨床研究センター  
5) 名古屋医療センター 医師  
6) 高山厚生病院院長 / 名古屋医療センター客員研究員  
7) 名古屋市立大学

## O-051 HIV-1 RNA 定量キットのコントロールサーベイ

田中理恵<sup>1)</sup>、加藤真吾<sup>1)</sup>、井土美由紀<sup>2)</sup>、林 邦彦<sup>2)</sup>、今井光信<sup>3)</sup>

1) 慶応義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室  
2) ロシユ・ダイアグノスティクス株式会社  
3) 神奈川県衛生研究所

## O-052 ブロック拠点病院での匿名無料即日 HIV 抗体検査

高橋晴代<sup>1)</sup>、高岡勝利<sup>1)</sup>、成田清子<sup>1)</sup>、菅澤明美<sup>1)</sup>、関 義信<sup>2)</sup>、小川真知子<sup>3)</sup>

1) 新潟県立新発田病院 看護部  
2) 新潟県立新発田病院 内科  
3) 新潟県立新発田病院 臨床検査科

## O-053 保健所とエイズ予防啓発団体との協働による HIV/STD 臨時検査

木村博和<sup>1)</sup>、星野国夫<sup>2)</sup>、張由紀夫<sup>3)</sup>

1) 横浜市南区福祉保健センター  
2) 横浜 Cruise ネットワーク  
3) Rainbow Ring

## O-054 自発的 HIV 検査相談における即日検査導入の影響と効果評価の体制

中瀬克己<sup>1)</sup>、嶋 貴子<sup>2)</sup>、今井光信<sup>2)</sup>

1) 岡山市保健所  
2) 神奈川県衛生研究所

■日時：11月30日(木)9:00～10:00

■会場：日本教育会館 (E会場)

### 診療体制 I 医療機関

座長 稲垣 智一

(東京都福祉保健局健康安全室)

## O-055 チームで支える HIV 外来診療

遠藤和郎

沖縄県立中部病院 内科

# 一般演題

O-056 HIV 診療サテライトクリニックの現況報告  
山中 晃<sup>1)</sup>、金子 恵<sup>1)</sup>、青木 眞<sup>2)</sup>、高 明志<sup>3)</sup>、  
山元泰之<sup>3)</sup>、福武勝幸<sup>3)</sup>

- 1)新宿東口クリニック
- 2)サクラ精機(株)
- 3)東京医科大学病院臨床検査医学科

O-057 厚木市立病院における HIV/AIDS 診療の現状  
岩崎弥生<sup>1)</sup>、森田眞子<sup>2)</sup>、斉木一郎<sup>3)</sup>、岩室紳也<sup>4)</sup>

- 1)厚木市立病院 薬剤管理指導室
- 2)神奈川県保健福祉部健康増進課
- 3)神奈川県立がんセンター薬剤科
- 4)社地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター

O-058 東京慈恵会医科大学附属病院における HIV/  
AIDS 診療体制と実績

吉田正樹、加藤哲朗、佐藤文哉、堀野哲也、  
中澤 靖、坂本光男、小野寺昭一  
東京慈恵会医科大学感染制御部

O-059 関東甲信越ブロックにおける相談体制の現状と課題  
一抑うつ感・不安感との関係を中心に一

牧野麻由子<sup>1)</sup>、村松芳幸<sup>2)</sup>、田邊喜成<sup>3)</sup>、  
下条文武<sup>1)</sup>

- 1)新潟大学大学院医歯学総合研究科
- 2)新潟大学医学部保健学科
- 3)新潟大学医歯学総合病院

O-060 当院通院中である 60 歳以上の HIV 感染者  
における診療状況の検討

渡辺ゆみ子、山田由紀子、関矢早苗、尾形こずえ、  
今村顕史、菅沼明彦、味澤 篤、根岸昌功  
都立駒込病院感染症科

■日時：11月30日(木)10:10～11:20

■会場：日本教育会館(E会場)

## 診療体制Ⅱ 地域

座長 秋野 公造

(厚生労働省 健康局 疾病対策課)

O-061 長期療養が必要な HIV 感染者の施設・病院  
での受け入れについての検討

永井英明<sup>1)</sup>、池田和子<sup>2)</sup>、織田幸子<sup>3)</sup>、城崎真弓<sup>4)</sup>、  
菅原美花<sup>5)</sup>、山田由美子<sup>6)</sup>、大野稔子<sup>7)</sup>、河部康子<sup>8)</sup>、  
小西加保留<sup>9)</sup>、山田三枝子<sup>10)</sup>、遠藤 卓<sup>1)</sup>

- 1)独立行政法人国立病院機構東京病院呼吸器科
- 2)国立国際医療センター
- 3)独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- 4)独立行政法人国立病院機構九州医療センター
- 5)独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
- 6)独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
- 7)北海道大学附属病院
- 8)広島大学附属病院
- 9)関西学院大学
- 10)石川県立中央病院

O-062 農村地域におけるエイズ治療拠点病院の課題

高山義浩、小林智子、小澤幸子、岡田邦彦  
佐久総合病院総合診療科

O-063 『関東甲信越エイズ治療拠点病院リスト<医  
療者用>』についての検討

須貝 恵<sup>1)</sup>、田邊嘉也<sup>2)</sup>、内山正子<sup>3)</sup>、塚田弘樹<sup>4)</sup>

- 1)財団法人エイズ予防財団 新潟大学医歯学総合病院
- 2)新潟大学大学院医歯学総合研究科 臨床感染制御学分野(第二内科)
- 3)新潟大学医歯学総合病院 感染管理部
- 4)新潟市民病院 感染症科

O-064 近畿ブロック拠点病院への患者集中の現状  
についての検討

古金秀樹<sup>1)</sup>、織田幸子<sup>3)</sup>、下司有加<sup>3)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、  
白阪琢磨<sup>2)</sup>

- 1)国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター(エイズ予防財団 RR)
- 2)国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター
- 3)国立病院機構大阪医療センター看護部

O-065 三重県における HIV 感染症の医療体制に関  
する調査

森 尚義<sup>1)</sup>、陣田さつき<sup>1)</sup>、倉田みち子<sup>2)</sup>、  
谷口晴記<sup>3)</sup>

- 1)三重県立総合医療センター薬剤部
- 2)三重県立総合医療センター感染対策室
- 3)三重県立総合医療センター産婦人科

# 一般演題

O-066 当センターから一般医療機関に紹介した HIV/AIDS 患者の受診状況調査  
武田謙治、矢野麻子、島田 恵、池田和子、  
大金美和、山田由紀、畑中祐子、石垣今日子、  
井上誉子、岡 慎一  
国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

O-067 ブロック拠点病院、拠点病院、行政間の連携における出張研修の効果  
辻麻理子<sup>1)</sup>、山本政弘<sup>2)</sup>、城崎真弓<sup>2)</sup>、井上 緑<sup>1)</sup>、  
建山正男<sup>3)</sup>  
1) (財) エイズ予防財団 / (独) 国立病院機構九州医療センター感染症対策室  
2) (独) 国立病院機構九州医療センター感染症対策室  
3) 琉球大学医学部附属病院第一内科

■日時：11月30日(木)13:20～14:20  
■会場：日本教育会館 (B会場)

## 分子進化・疫学

座長 武部 豊  
(国立感染症研究所 エイズ研究センター)

O-068 HIV 感染者 PBMC 中プロウイルスの multiplex nested PCR による構造解析  
須藤弘二<sup>1)</sup>、田中理恵<sup>2)</sup>、近藤真規子<sup>1)</sup>、今井光信<sup>1)</sup>、  
加藤真吾<sup>2)</sup>  
1) 神奈川県衛生研究所  
2) 慶應義塾大学 医学部

O-069 HIV 伝播が確認された感染者間における HIV の遺伝子解析  
渡邊紗也香<sup>1)</sup>、立川 (川名) 愛<sup>1)</sup>、小田原隆<sup>1)</sup>、  
中村哲也<sup>2)</sup>、岩本愛吉<sup>1)</sup>  
1) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野  
2) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

O-070 フィリピンにおける血液媒介感染による HIV 流行の端緒形成の可能性  
景山誠二、市村 宏  
金沢大学 院 医 ウイルス感染症制御学

O-071 日本で検出された CRF01\_AE/B リコンビナント HIV-1 の解析  
近藤真規子<sup>1)</sup>、須藤弘二<sup>1)</sup>、嶋 貴子<sup>1)</sup>、高橋華子<sup>2)</sup>、  
相楽裕子<sup>2)</sup>、武部 豊<sup>3)</sup>、今井光信<sup>1)</sup>  
1) 神奈川県衛生研究所微生物部  
2) 横浜市民病院感染症部  
3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

O-072 HIV-1 と HIV-2 のゲノム組み換えの可能性  
本村和嗣、ChenJianbo、HuWei-Shau  
Viral Recombination Section, Resistance Mechanism Laboratory, HIV Drug Resistance Program, National Cancer Institute-Frederick,

O-073 HIV-1 サブタイプ B' 感染性分子クローンの樹立とその性状の解析  
草川 茂、武部 豊  
国立感染症研究所エイズ研究センター

■日時：11月30日(木)14:30～15:20  
■会場：日本教育会館 (B会場)

## ゲノム二重体化・Gag 蛋白

座長 村上 努  
(国立感染症研究所 エイズ研究センター)

O-074 ウイルスゲノム二量体化の感染初期に及ぼす影響  
櫻木淳一、塩田達雄  
大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

O-075 HIV-1 Capsid (CA) 翻訳後修飾のプロファイリング  
井上睦美、三隅将吾、高宗暢暁、庄司省三  
熊本大学大学院 医学薬学教育部 薬学生化学

O-076 p2 peptide は HIV-1 感染における autologus エンハンサーとして機能する  
井上大奨、三隅将吾、高宗暢暁、庄司省三  
熊本大学大学院 医学薬学教育部 薬学生化学

O-077 HIV-1 nucleocapsid protein (NCp7) の核外輸送能の解析  
松田 剛、間 陽子  
理化学研究所 中央研

O-078 ミリストイル化非依存的な HIV-1 Gag の assembly および virus-like particle 産生  
青木 徹<sup>1)</sup>、貝の瀬由成<sup>1)</sup>、二橋悠子<sup>1)</sup>、清水佐紀<sup>1)</sup>、  
松田善衛<sup>1)</sup>、山本直樹<sup>1)</sup>、駒野 淳<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター  
2) 東京医科歯科大学 ウイルス制御学

# 一般演題

■日時：11月30日(木)13:20～14:30

■会場：日本教育会館(D会場)

## アドヒアランス

座長 日笠 聡

(兵庫医科大学 血液内科)

O-079 ウイルス疾患指導料加算に関するアンケート調査結果

桑原 健<sup>1)</sup>、古金秀樹<sup>2)</sup>、衣笠浩子<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>

1)独立行政法人国立病院機構大阪医療センター薬剤科

2)独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS

先端医療センター免疫感染研究室

O-080 HIV 感染者の継続的服薬に作用する主観的維持因子および阻害因子の分析— HIV 感染者への面接調査結果より—

山中京子<sup>1)</sup>、吉野宗宏<sup>2)</sup>、桑原 健<sup>2)</sup>、児玉憲一<sup>3)</sup>、東 優子<sup>1)</sup>

1)大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科

2)独立行政法人国立病院機構大阪医療センター薬剤科

3)広島大学大学院教育学研究科

O-081 AIDS 発症者を対象とした抗 HIV 療法導入入院クリニカルパス導入の試み

野口志展、玉村好美、山田由美子、野口明子、林 誠、奥村直哉、平野 淳、菊池恵美子、濱口元洋、間宮均人、横幕能行  
名古屋医療センター

O-082 駒込病院薬剤科における服薬指導の現況報告 ～最近3年間について～

佐野俊彦<sup>1)</sup>、宮澤真帆<sup>1)</sup>、菅沼明彦<sup>2)</sup>、今村顕史<sup>2)</sup>、味澤 篤<sup>2)</sup>、根岸昌功<sup>2)</sup>

1)東京都立駒込病院薬剤科

2)東京都立駒込病院感染症科

O-083 薬剤師による外来支援

陣田さつき<sup>1)</sup>、森 尚義<sup>1)</sup>、藤原篤司<sup>2)</sup>、内藤雅大<sup>2)</sup>、谷口晴記<sup>3)</sup>

1)三重県立総合医療センター薬剤部

2)三重県立総合医療センター呼吸器科

3)三重県立総合医療センター産婦人科

O-084 エイズ診療拠点病院に勤務する薬剤師の意識調査

本間隆之<sup>1)</sup>、田辺貴幸<sup>1)</sup>、下川千賀子<sup>2)</sup>、森 正昭<sup>2)</sup>、上田幹夫<sup>2)</sup>、木村和子<sup>1)</sup>

1)金沢大学大学院自然科学研究科

2)石川県立中央病院

O-085 保健所でのHIV針刺し事故による医療機関との協力体制の確立

野毛一郎<sup>1)</sup>、吉田康秀<sup>2)</sup>、山崎晴美<sup>3)</sup>

1)沼津市立病院 薬剤部

2)沼津市立病院 呼吸器内科

3)沼津保健所 健康増進課

■日時：11月30日(木)15:40～16:40

■会場：日本教育会館(D会場)

## 日和見合併症 肝 I

座長 菊池 嘉

(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

O-086 HIV 感染血液凝固異常症における C 型肝炎の現状と 2005 年までの治療状況について：2005 年度血液凝固異常症全国調査より

瀧 正志<sup>1)</sup>、立浪 忍<sup>2)</sup>、白幡 聡<sup>3)</sup>、三間屋純一<sup>4)</sup>

1)聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科

2)聖マリアンナ医科大学医学統計

3)産業医科大学小児科

4)静岡県立こども病院血液腫瘍科

O-087 HIV/HBV 重複感染例の検討—川崎 HIV 診療グループ

小池 満<sup>1)</sup>、三好 洋<sup>3)</sup>、山口洋子<sup>1)</sup>、奥瀬千晃<sup>2)</sup>、中島由紀子<sup>4)</sup>、井上靖之<sup>1)</sup>、鈴木貴雄<sup>1)</sup>、高橋正知<sup>1)</sup>、三浦偉久男<sup>1)</sup>、杉浦 互<sup>5)</sup>、中島秀喜<sup>3)</sup>

1)聖マリアンナ医科大学血液腫瘍内科

2)聖マリアンナ医科大学消化器・肝臓内科

3)聖マリアンナ医科大学微生物学

4)川崎市立川崎病院

5)国立感染症研究所エイズ研究センター

O-088 血友病 HIV/HCV 肝炎の現状と PEG IFN 治療の課題

花房秀次<sup>1)</sup>、木内 英<sup>1)</sup>、太田末緒<sup>1)</sup>、和田育子<sup>1)</sup>、小島賢一<sup>1)</sup>、加藤真吾<sup>2)</sup>

1)荻窪病院 血液科

2)慶應義塾大学 微生物

O-089 HAART に先行し PEG-IFN/リバビリンにて抗 HCV 療法を行った HIV/HCV 重感染血友病患者の 1 例

松本剛史<sup>1)</sup>、和田英夫<sup>2)</sup>、榎屋正浩<sup>3)</sup>、村嶋正幸<sup>4)</sup>

1)三重大学 大学院 医学系研究科 病態制御医学講座 造血病態内科学

2)三重大学 大学院 医学研究科 病態解明医学講座 臨床検査医学

3)三重大学 医学部 附属病院 輸血部

4)三重県立看護大学



# 一般演題

## O-090 HIV/HCV 合併血友病症例での Interferon を含む抗 HCV 治療失敗後の経過

立川夏夫、渡辺恒二、神村麻穂子、中村匡宏、近江恭子、松村次郎、渡辺珠代、本田元人、阿部泰尚、矢崎博久、田沼順子、本田美和子、瀧永博之、源河いくみ、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一  
国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

## O-091 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 1 報

CD4 値、HIV-RNA 量と治療の現状と推移  
白阪琢磨<sup>1)</sup>、川戸美由紀<sup>2)</sup>、日笠 聡<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>4)</sup>、吉崎和幸<sup>5)</sup>、木村 哲<sup>6)</sup>、福武勝幸<sup>7)</sup>、橋本修二<sup>2)</sup>  
1)国立大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター  
2)藤田保健衛生大学 医学部衛生学  
3)兵庫医科大学 総合内科血栓止血老年病科  
4)国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター  
5)大阪大学 保健センター  
6)東京通信病院  
7)東京医科大学 臨床検査医学

■日時：11月30日(木)16:50～17:40

■会場：日本教育会館 (D 会場)

## 日と見合併症 肝Ⅱ

座長 小田原 隆

(東京大学医科学 研究所附属病院 感染免疫内科)

## O-092 HIV/HCV 重複感染症例に対する抗 HCV 療法の現状

荘 拓也<sup>1)</sup>、髭 修平<sup>1)</sup>、夏井坂光輝<sup>1)</sup>、中西 満<sup>1)</sup>、加畑 馨<sup>1)</sup>、中馬 誠<sup>1)</sup>、近藤 健<sup>1)</sup>、太田秀一<sup>1)</sup>、橋野 聡<sup>1)</sup>、渡部恵子<sup>1)</sup>、大野稔子<sup>1)</sup>、浅香正博<sup>1)</sup>、田中淳司<sup>2)</sup>、今村雅寛<sup>2)</sup>、藤本勝也<sup>3)</sup>、佐藤典宏<sup>3)</sup>、小池隆夫<sup>3)</sup>  
1)北海道大学病院第三内科  
2)北海道大学病院血液内科 I  
3)北海道大学病院第二内科

## O-093 ネフローゼ症候群の発症により判明した HIV/HBV 重複感染症の 1 例

堀野哲也、加藤哲朗、佐藤文哉、坂本光男、中澤 靖、吉田正樹、小野寺昭一  
東京慈恵会医科大学感染制御部

## O-094 HIV/HCV 重複感染肝硬変に対する治療～PSE 併用 PEG-IFN $\alpha$ 2b+ リバビリン療法にて SVR を得た一例～

久保恒明<sup>1)</sup>、間山 恒<sup>1)</sup>、小倉和外<sup>1)</sup>、赤木智昭<sup>1)</sup>、竹森弘光<sup>1)</sup>、立花直樹<sup>2)</sup>  
1)青森県立中央病院 リウマチ・血液内科  
2)青森県立中央病院 輸血部

## O-095 HIV 感染症に合併した慢性 B 型肝炎に対する Tenofovir の効果

菅沼明彦、今村顕史、味澤 篤、根岸昌功  
東京都立駒込病院感染症科

## O-096 HIV 陽性 MSM における不活化 A 型肝炎ワクチンに対する抗体反応

井戸田一朗<sup>1)</sup>、藤純一郎<sup>1)</sup>、平井由児<sup>1)</sup>、安並 毅<sup>2)</sup>、嶋 貴子<sup>3)</sup>、今井光信<sup>3)</sup>、戸塚恭一<sup>1)</sup>  
1)東京女子医科大学感染症科  
2)東京女子医科大学血液内科  
3)神奈川県衛生研究所微生物部エイズ・インフルエンザグループ

■日時：12月1日(金)9:00～9:40

■会場：日本教育会館 (A 会場)

## 副作用 I

座長 立川 夏夫

(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター )

## O-097 Tenofovir 腎毒性と CD4 低下および併用薬の関係

木内 英、小島賢一、和田育子、太田未緒、花房秀次  
荻窪病院血液科

## O-098 TDF 投与早期に腎機能障害や意識障害をきたし 10 倍以上の高い血中濃度であった 1 例

妹尾高宏<sup>1)</sup>、大野聖子<sup>2)</sup>、林 滋<sup>3)</sup>、船越真理<sup>3)</sup>  
1)京都第一赤十字病院呼吸器科  
2)京都第一赤十字病院感染制御部  
3)京都第一赤十字病院薬剤部

## O-099 Tenofovir(TDF) 過量内服にて急性腎不全を呈し血液透析で改善した 1 例

仲村秀太、那覇 唯、宮城一也、原永修作、比嘉 太、健山正男、藤田次郎  
琉球大学医学部感染病態制御学講座

# 一般演題

## O-100 HAART 開始後に急性腎不全をきたした HIV 感染者の 1 例

善本英一郎、古西 満、宇野健司、笠原 敬、  
三笠桂一  
奈良県立医科大学感染症センター

■日時：12月1日(金)9:50～10:40

■会場：日本教育会館(A会場)

### 副作用II

座長 上平 朝子

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 免疫感染症科)

## O-101 高熱、縦隔・腹腔内リンパ節腫脹と肝脾腫を来し、EFV の副作用と考えられた 2 例

大野聖子<sup>1)</sup>、林 滋<sup>2)</sup>、船越真理<sup>2)</sup>、妹尾高宏<sup>3)</sup>、  
上田里美<sup>4)</sup>

1) 京都第一赤十字病院 感染制御部  
2) 京都第一赤十字病院 薬剤部  
3) 京都第一赤十字病院 呼吸器科  
4) 京都第一赤十字病院 血液内科

## O-102 HIV 感染者における ST 合剤の副作用発現と投与量の検討

前田卓哉<sup>1)</sup>、藤井 毅<sup>3)</sup>、宮崎菜穂子<sup>4)</sup>、遠藤宗臣<sup>2)</sup>、  
松村武史<sup>3)</sup>、古賀一郎<sup>3)</sup>、鯉淵智彦<sup>2)</sup>、小田原隆<sup>3)</sup>、  
中村哲也<sup>2)</sup>、岩本愛吉<sup>3)</sup>

1) 東京大学医科学研究所感染症国際研究センター  
2) 東京大学医科学研究所感染免疫内科  
3) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター  
4) 東京大学医科学研究所附属病院

## O-103 HIV 感染血液凝固異常症におけるリポジストロフィーと乳酸アシドーシスの状況について

立浪 忍<sup>1)</sup>、浅原美恵子<sup>2)</sup>、桑原理恵<sup>3)</sup>、白幡 聡<sup>4)</sup>、  
三間屋純一<sup>5)</sup>、瀧 正志<sup>6)</sup>

1) 聖マリアンナ医科大学医学統計  
2) 聖マリアンナ医科大学小児科  
3) 聖マリアンナ医科大学アイソトープ研究施設  
4) 産業医科大学小児科  
5) 静岡県立こども病院血液腫瘍科  
6) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科

## O-104 HIV 感染症に対するエムトリシタピン投与による安全性と皮膚変色発現に関する検討(第2報)

山元泰之<sup>1)</sup>、西田恭治<sup>1)</sup>、天野景裕<sup>1)</sup>、鈴木隆史<sup>1)</sup>、  
山中 晃<sup>1)</sup>、福武勝幸<sup>1)</sup>、入澤亮吉<sup>2)</sup>、加藤雪彦<sup>2)</sup>、  
斉藤万寿吉<sup>2)</sup>、坪井良治<sup>2)</sup>、中村哲也<sup>3)</sup>、根岸昌功<sup>4)</sup>、  
白阪琢磨<sup>5)</sup>

1) 東京医科大学臨床検査医学講座  
2) 東京医科大学皮膚科学講座  
3) 東京大学医科学研究所附属病院  
4) 東京都立駒込病院  
5) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

## O-105 抗 HIV 薬の服薬と副作用に関するアンケート調査

桑原 健<sup>1)</sup>、吉野宗宏<sup>1)</sup>、永井聡子<sup>1)</sup>、小住好子<sup>2)</sup>、  
大金美和<sup>3)</sup>、奥村直哉<sup>4)</sup>、小山田純治<sup>5)</sup>、下司有加<sup>6)</sup>、  
織田幸子<sup>6)</sup>、白阪琢磨<sup>7)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター薬剤科  
2) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター薬剤科  
3) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター  
4) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター薬剤科  
5) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター薬剤科  
6) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター看護部  
7) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科

■日時：12月1日(金)9:00～10:00

■会場：日本教育会館(B会場)

### 動物モデル

座長 三浦 智行

(京都大学ウイルス研究所)

## O-106 サル免疫不全ウイルス感染に対する細胞傷害性リンパ球と中和抗体の相乗的な複製抑制効果

山本浩之、川田真幹、俣野哲朗  
東京大学医科学研究所感染症国際センター

## O-107 プロテアーゼ、逆転写酵素、およびインテグラーゼの各遺伝子が HIV-1 由来である新規 SHIV のサル感染実験

井戸栄治<sup>1)</sup>、石松美沙<sup>1)</sup>、速水正憲<sup>2)</sup>、三浦智行<sup>2)</sup>  
1) 京都大学ウイルス研究所新興ウイルス感染症研究センター  
2) 京都大学ウイルス研究所感染症モデル研究センター

## O-108 nef 遺伝子欠損サル/ヒト免疫不全キメラウイルス (SHIV-NI) 免疫ザルに対する急性発症型 SHIV 攻撃接種後早期の全身臓器におけるウイルス動態

深澤嘉伯、伊吹謙太郎、斉藤尚紀、姫野 愛、  
稲葉一寿、松田健太、松山めぐみ、元原麻貴子、  
速水正憲、三浦智行

京都大学ウイルス研究所 感染症モデル研究センター 霊長類モデル研究領域

# 一般演題

## O-109 SIV/SHIV 感受性 IL-2 independent アカゲザル細胞株 “MT-IL2I” の樹立とその性状解析

齊藤尚紀<sup>1)</sup>、高橋めぐみ<sup>2)</sup>、  
清水真澄<sup>2)</sup>、伊吹謙太郎<sup>1)</sup>、速水正憲<sup>1)</sup>、三浦智行<sup>1)</sup>、  
高橋秀実<sup>2)</sup>

1) 京都大学ウイルス研究所 霊長類モデル  
2) 日本医科大学 微生物免疫学教室

## O-110 新規 HIV 感染小動物モデルの開発：ヒト造血細胞移植 SCID マウス

小柳義夫<sup>1)</sup>、三沢尚子<sup>1)</sup>、佐藤 佳<sup>1)</sup>、伊藤 守<sup>2)</sup>

1) 京都大学ウイルス研究所感染病態研究領域  
2) 実験動物中央研究所

## O-111 ヒト IL-4 産生 SCID マウスの X4 HIV-1 感染への応用

大隈 和<sup>1)</sup>、田中礼子<sup>1)</sup>、伊藤 守<sup>2)</sup>、田中勇悦<sup>1)</sup>

1) 琉球大学大学院医学研究科免疫学分野  
2) 財団法人実験動物中央研究所

■日時：12月1日(金)10:10～11:10

■会場：日本教育会館 (B 会場)

### コレセプター・宿主因子

座長 小柳 義夫

(京都大学ウイルス研究所)

## O-112 臨床分離 HIV 株のコレセプター使用性の解析

清水宣明<sup>1)</sup>、大上厚志<sup>1)</sup>、田中 淳<sup>1)</sup>、大槻貴博<sup>2)</sup>、  
森 隆久<sup>1)</sup>、中村孝子<sup>2)</sup>、内海英貴<sup>3)</sup>、野島美久<sup>3)</sup>、  
星野洪郎<sup>1)</sup>

1) 群馬大学大学院医学系研究科分子予防医学  
2) 21世紀COEプログラム「加速器テクノロジーによる医学生物学研究」  
3) 群馬大学医学部附属病院血液内科

## O-113 Dual tropic SHIV-KS661 をバックボーンとした R5 single tropic ウイルスと X4 single tropic ウイルスの作製

松田健太<sup>1)</sup>、松山めぐみ<sup>1)</sup>、伊吹謙太郎<sup>1)</sup>、  
山口由美<sup>3)</sup>、速水正憲<sup>2)</sup>、三浦智行<sup>1)</sup>

1) 京都大学ウイルス研究所附属感染症モデル研究センター霊長類モデル研究領域  
2) 京都大学  
3) 産業技術総合研究所生物情報解析研究センター統合データベース解析チーム

## O-114 V3 領域の単独アミノ酸置換による R5X4 エンベロープのコレセプター選択性の解析

前田洋助、遊佐敬介、原田信志

熊本大学大学院医学薬学研究部感染防御

## O-115 テトラスパニン分子の過剰発現による HIV-1 感染抑制作用

佐藤 佳<sup>1)</sup>、青木 淳<sup>2)</sup>、大黒恵理子<sup>3)</sup>、佐野浩一<sup>3)</sup>、  
田中勇悦<sup>4)</sup>、小柳義夫<sup>1)</sup>

1) 京都大学ウイルス研究所感染病態研究領域  
2) 東北大学医学研究科免疫学分野  
3) 大阪医科大学微生物学ユニット  
4) 琉球大学医学研究科免疫学分野

## O-116 HIV-1 RT における ATP 結合阻害因子の酵素活性と耐性発現に及ぼす影響

横山 勝、守 宏美、佐藤裕徳

国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

## O-117 HIV-1 複製サイクルにおける HIV-1 integrase 宿主結合因子 Gemin2 の役割

西辻裕紀<sup>1)</sup>、小櫃冨未<sup>2)</sup>、林 隆也<sup>2)</sup>、神奈木真理<sup>2)</sup>、  
増田貴夫<sup>2)</sup>

1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科免疫治療学、エイズ予防財団  
2) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科免疫治療学

■日時：12月1日(金)9:00～9:50

■会場：日本教育会館 (C 会場)

### 陽性者支援①

座長 井上 洋士

(三重県立看護大学)

## O-118 HIV 感染者のセクシュアルヘルス支援のための介入プログラム実施後の評価検討 (第1報)：プロセス評価の試み

井上洋士<sup>1)</sup>、村上未知子<sup>2)</sup>、細川陸也<sup>1)</sup>、有馬美奈<sup>3)</sup>、  
市橋恵子<sup>4)</sup>、岩本愛吉<sup>2)</sup>、大野稔子<sup>5)</sup>、山元泰之<sup>6)</sup>、  
木原正博<sup>7)</sup>、木原雅子<sup>7)</sup>

1) 三重県立看護大学  
2) 東京大学医科学研究所  
3) 東京都立荏原病院  
4) 訪問看護ステーション堂山  
5) 北海道大学病院  
6) 東京医科大学臨床検査医学  
7) 京都大学大学院医学研究科

# 一般演題

O-119 HIV 感染者のセクシュアルヘルス支援のための介入プログラム実施後の評価検討 (第2報):アウトカム評価の試み  
細川陸也<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>1)</sup>、村上未知子<sup>2)</sup>、有馬美奈<sup>3)</sup>、市橋恵子<sup>4)</sup>、岩本愛吉<sup>1)</sup>、大野稔子<sup>5)</sup>、山元泰之<sup>6)</sup>、木原正博<sup>7)</sup>、木原雅子<sup>7)</sup>

- 1)三重県立看護大学
- 2)東京大学医科学研究所
- 3)東京都立荏原病院
- 4)訪問看護ステーション堂山
- 5)北海道大学病院
- 6)東京医科大学臨床検査医学
- 7)京都大学大学院医学研究科

O-120 HIV 陽性者のストレスマネジメント・ワークの実践

野坂祐子<sup>1)</sup>、生島 嗣<sup>2)</sup>、笹川真紀子<sup>3)</sup>

- 1)大阪教育大学
- 2)特定非営利活動法人ふれいす東京
- 3)武蔵野大学

O-121 女性 HIV 感染者が抱える困難と支援ニーズに関する調査研究

伊藤由衣、井上洋士、藤井まどか  
三重県立看護大学

O-122 HIV 陽性者のための相談サービスにおける新規相談の分析

牧原信也、生島 嗣、福原寿弥、池上千寿子  
特定非営利活動法人 ふれいす東京

■日時：12月1日(金)10:00～11:00

■会場：日本教育会館 (C 会場)

## 陽性者支援③

座長 矢島 嵩

(特定非営利活動法人ふれいす東京)

O-123 「新陽性者 PEER Group Meeting(PGM)」活動報告 (2001年4月-2006年7月)

矢島 嵩、生島 嗣、大内幸恵、福原寿弥  
特定非営利活動法人 ふれいす東京

O-124 HIV 陽性告知を受けて間もない人にとってのピアグループミーティング (PGM) の意義—地域における当事者交流の意義—

大内幸恵、矢島 嵩、福原寿弥、生島 嗣  
特定非営利活動法人 ふれいす東京

O-125 グループ活動への試み — 「女性 (患者・家族) の会」の活動から考える—

山田三枝子<sup>1)</sup>、山下美津江<sup>2)</sup>、今井由三代<sup>3)</sup>、北志保里<sup>1)</sup>、辻 典子<sup>1)</sup>、上田幹夫<sup>2)</sup>

- 1)石川県立中央病院 (エイズ予防財団リサーチレジデント)
- 2)石川県立中央病院
- 3)北陸 HIV 情報センター

O-126 HIV 陽性者のネットワーク構築と社会参加の推進～ピアサポートとアドボカシーの視点から～

長谷川博史<sup>1)</sup>、矢島 嵩<sup>2)</sup>、神谷俊樹<sup>1)</sup>、外山芳春<sup>1)</sup>、長野耕介<sup>1)</sup>、藤原良次<sup>3)</sup>、樽井正義<sup>4)</sup>、生島 嗣<sup>5)</sup>、池上千寿子<sup>5)</sup>

- 1)日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 2)特定非営利活動法人ふれいす東京・NEST
- 3)りょうちゃんず
- 4)慶応大学文学部
- 5)特定非営利活動法人ふれいす東京

O-127 PLWHA による CBO = 地域密着型活動 = 動画コンテンツの配信と交流・講師派遣を組み合わせた地域密着活動

山崎 圭<sup>1)</sup>、尾崎 友<sup>2)</sup>

- 1)法政大学地域研究センター
- 2)PHILIP(フィリップ)：Project of Health Information & Life innovation for PLWHA

O-128 HIV 陽性者による HIV 陽性者の支援—タイ国パヤオ県の現場から—

谷口 恭

GINA (特定 NPO 法人申請中)

■日時：12月1日(金)9:00～10:10

■会場：日本教育会館 (D 会場)

## 日和見合併症 その他 I

座長 今村 顕史

(東京都立駒込病院 感染症科)

O-129 HIV 日和見合併症の動向—全国拠点病院アンケート調査—

安岡 彰<sup>1)</sup>、鳴河宗聡<sup>1)</sup>、源河いくみ<sup>3)</sup>、照屋勝治<sup>3)</sup>、菊池 嘉<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>、木村 哲<sup>4)</sup>

- 1)富山大学附属病院
- 2)長崎大学附属病院感染制御教育センター
- 3)国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 4)東京通信病院

# 一般演題

O-130 当院における HIV 日和見合併症の動向  
渡辺珠代<sup>1)</sup>、安岡 彰<sup>2)</sup>、近江恭子<sup>1)</sup>、松村次郎<sup>1)</sup>、  
神村麻穂子<sup>1)</sup>、渡辺恒二<sup>1)</sup>、本田元人<sup>1)</sup>、中村匡宏<sup>1)</sup>、  
阿部泰尚<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、矢崎博久<sup>1)</sup>、本田美和子<sup>1)</sup>、  
源河いくみ<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、立川夏夫<sup>1)</sup>、  
菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

1)国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター  
2)富山大学感染予防医学感染症治療部

O-131 当院における HIV 感染患者に合併した菌血症について

椎木創一、笹川 淳、富成伸次郎、渡邊 大、  
牧江俊雄、山本善彦、上平朝子、白阪琢磨  
独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療センター 免疫感染症科

O-132 ニューモシスチス肺炎 (PCP) で発症、HAART 開始後、免疫再構築症候群によるサイトメガロウイルス (CMV) 網膜炎・肝炎をきたした AIDS の 1 例

高橋義博  
大館市立総合病院 HIV 診療担当 (小児科)

O-133 免疫再構築症候群を呈した AIDS 合併 Kaposi 肉腫の 1 例

那覇 唯、原永修作、仲村秀太、宮城一也、  
比嘉 太、健山正男、藤田次郎  
琉球大学大学院医学研究科感染症態制御学講座分子病態感染症学分野 (第 1 内科)

O-134 CMV 感染症におけるバルガンシクロピルの有用性についての検討

平野 淳<sup>1)</sup>、奥村直哉<sup>1)</sup>、林 誠<sup>1)</sup>、久高祐一<sup>1)</sup>、  
鈴木達男<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>2)</sup>、安岡 彰<sup>3)</sup>、間宮均人<sup>2)</sup>、  
濱口元洋<sup>4)</sup>  
1)名古屋医療センター 薬剤科  
2)名古屋医療センター 感染症科  
3)富山大学医学部 感染予防医学  
4)名古屋医療センター 臨床研究センター止血・血栓研究部

O-135 当院におけるニューモシスチス肺炎の臨床像とアトバコンの位置づけについての検討  
今村顕史、菅沼明彦、味澤 篤、根岸昌功  
都立駒込病院感染症科

■日時：12月1日(金)10:20～11:10

■会場：日本教育会館 (D 会場)

## 日和見合併症 その他Ⅲ

座長 天野 景裕  
(東京医科大学 臨床検査医学講座)

O-136 IgA 腎症の一例

後藤哲志、片山智香子、白野倫徳、高田由紀子、  
阪上賀洋  
大阪市立総合医療センター 感染症センター

O-137 ループス腎炎様ネフローゼ症候群で発症した AIDS の一例

後藤守孝、新井繁幸、秋元寛正、川杉和夫、  
松田重三  
帝京大学病院内科学講座

O-138 HIV 感染者に合併する造血器悪性新生物(悪性リンパ腫を除く)の発生率と臨床的特徴

竹田 純、松村武史、古賀一郎、伊賀睦了、  
前田卓哉、鯉淵智彦、遠藤宗臣、藤井 毅、  
小田原隆、中村哲也、岩本愛吉  
東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

O-139 HIV 感染者に見られたエイズ指標疾患ではない悪性腫瘍の検討

神戸敏行、中村 朗  
総合病院国保旭中央病院内科

O-140 HIV 感染者において「骨血管相関」は存在するか

古西 満、善本英一郎、宇野健司、笠原 敬、  
三笠桂一  
奈良県立医科大学感染症センター

■日時：12月1日(金)9:00～9:50

■会場：日本教育会館 (E 会場)

## VCTでの相談

座長 矢永 由里子  
(財団法人エイズ予防財団)

O-141 エイズ検査でどのようなカウンセリングをおこなえばよいのか？

北川信一郎<sup>1)</sup>、臼井忠男<sup>2)</sup>  
1)京都市山科保健所  
2)京都市左京保健所

# 一般演題

## O-142 自発的検査機関における相談利用の傾向と今後の課題

今井敏幸<sup>1)</sup>、小島弘敬<sup>1)</sup>、山口 剛<sup>1)</sup>、稲垣智一<sup>2)</sup>、野原永子<sup>2)</sup>、飯田真美<sup>2)</sup>、湯藤 進<sup>3)</sup>

1) 東京都南新宿検査・相談室  
2) 東京都福祉保健局  
3) 東京都医師会

## O-143 土曜日常設抗体検査事業 ～結果お知らせの経験 (2005 年度)～

後藤哲志、榎本てる子、岳中美江、土居加寿子、松浦基夫、藤山佳秀  
NPO 法人 CHARM

## O-144 「保健所等の迅速検査会場における「HIV Issue」の改善と予防啓発を目指した環境ビデオ「Living Together—検査会場版—」の製作—視点的立場と方法—

山崎 圭<sup>1)</sup>、中澤よう子<sup>2)</sup>、富岡順子<sup>3)</sup>、尾崎 友<sup>4)</sup>

1) 法政大学地域研究センター  
2) 大和保健福祉事務所保健予防課 (医師)  
3) 厚木保健福祉事務所保健予防課 (保健師)  
4) PHILIP (フィリップ) : Project of Health Information & Life innovation for PLWHA

## O-145 検査体制と医療アクセスに関する研究 ～HIV 陽性者の視点から考察する陽性告知と治療開始～

長谷川博史<sup>1)</sup>、館林 稔<sup>2)</sup>、神谷俊樹<sup>1)</sup>、外山芳春<sup>1)</sup>、長野耕介<sup>1)</sup>、橋本則久<sup>3)</sup>、藤原良次<sup>3)</sup>、矢島 嵩<sup>4)</sup>、岳中美江<sup>5)</sup>、金子典代<sup>6)</sup>、市川誠一<sup>6)</sup>

1) 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス  
2) HEARTY NETWRK  
3) りょうちゃんず  
4) ふれいす東京 NEST  
5) CHARM・follow  
6) 名古屋市立大学大学院看護学研究科

■日時：12月1日(金)10:00～11:10

■会場：日本教育会館 (E 会場)

## 検査受診者の動向と行政施策

座長 中瀬 克己  
(岡山市保健所)

## O-146 江戸川区における HIV 検査受診者の検査前アンケートから見える傾向

吉羽久美、渡部裕之  
江戸川保健所

## O-147 大阪・土曜日常設 HIV 抗体検査事業における受診者の動向 (2005)

岳中美江<sup>1)</sup>、榎本てる子<sup>1)</sup>、岡本 学<sup>1)</sup>、後藤哲志<sup>1)</sup>、土居加寿子<sup>1)</sup>、松浦基夫<sup>1)</sup>、山中京子<sup>1)</sup>、横田恵子<sup>1)</sup>、飯沼恵子<sup>1)</sup>、伊藤悠子<sup>1)</sup>、藤山佳秀<sup>1)</sup>、市川誠一<sup>2)</sup>

1) NPO 法人 CHARM  
2) 名古屋市立大学大学院看護学研究科

## O-148 HIV 疫学調査における即日検査希望者を含む母集団の性感染症罹患リスクの解析

川畑拓也<sup>1)</sup>、小島洋子<sup>1)</sup>、森 治代<sup>1)</sup>、大竹 徹<sup>1)</sup>、大國 剛<sup>2)</sup>

1) 大阪府立公衆衛生研究所ウイルス課  
2) 大國診療所

## O-149 MSM 対象の HIV・STI 検査の受診者の受検動機と予防行動

金子典代<sup>1)</sup>、内海 真<sup>2)</sup>、市川誠一<sup>1)</sup>

1) 名古屋市立大学大学院 看護学研究科  
2) 高山厚生病院

## O-150 沖縄県における男性同性愛者の性感染症および性行動調査より

宮川桂子  
沖縄県南部福祉保健所

## O-151 国内エイズ対策施策の評価について <過去 15 年間の行政担当者研修とエイズ動向データから>

児玉知子  
国立保健医療科学院 政策科学部

## O-152 国内エイズ対策施策内容の評価について <過去 15 年間の行政担当者研修と研修者アンケート調査から>

児玉知子  
国立保健医療科学院 政策科学部

# 一般演題

■日時：12月1日(金)10:00～11:00

■会場：学術総合センター (F会場)

## 日和見合併症 リンパ腫

座長 味澤 篤  
(東京都立駒込病院 感染症科)

### O-153 診断・治療に難渋したエイズ関連悪性リンパ腫の2例

鳴河宗聡<sup>1)</sup>、安岡 彰<sup>1)</sup>、片野清隆<sup>2)</sup>、佐多徹太郎<sup>2)</sup>、  
舟田 久<sup>1)</sup>

1) 富山大学医学部 感染予防医学/感染症治療部  
2) 国立感染症研究所 感染病理部

### O-154 HIV 脳症で発症した胃悪性リンパ腫併発 AIDS 症例の臨床経過と血液学的問題点

関 義信<sup>1)</sup>、高岡勝利<sup>2)</sup>、成田清子<sup>2)</sup>、高橋晴代<sup>2)</sup>、  
菅澤明美<sup>2)</sup>、小川真知子<sup>3)</sup>

1) 新潟県立新発田病院 内科  
2) 新潟県立新発田病院 看護部  
3) 新潟県立新発田病院 臨床検査科

### O-155 自家末梢血幹細胞移植術を施行した難治性 HIV 関連悪性リンパ腫の2例

源河いくみ、田沼順子、阿部泰尚、神村麻穂子、  
渡辺恒二、渡辺珠代、近江恭子、松村次郎、  
本田元人、中村匡宏、矢崎博久、本田美和子、  
瀧永博之、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、  
岡 慎一

国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター

### O-156 CODOX-M/IVAC 療法が奏功した AIDS 合併 Burkitt リンパ腫の一例

竹下 望、今村顕史、柳澤如樹、菅沼明彦、  
味澤 篤、根岸昌功

東京都立駒込病院感染症科

### O-157 多剤耐性結核の治療中にバーキットリンパ腫を合併した1例

堀場昌英

独立行政法人 国立病院機構 東埼玉病院

### O-158 CHOP 療法が奏効した AIDS 合併 anaplastic T cell Lymphoma の1例

宮城一也、原永修作、仲村秀太、比嘉 太、  
健山正男、藤田次郎

琉球大学医学部第一内科

■日時：12月1日(金)11:10～12:10

■会場：学術総合センター (F会場)

## 日和見合併症 神経系

座長 照屋 勝治  
(国立国際医療センター )

### O-159 当院で経験した重篤な梅毒疹を呈した HIV 患者の5症例

柳澤如樹、竹下 望、菅沼明彦、今村顕史、  
味澤 篤、根岸昌功

東京都立駒込病院感染症科

### O-160 HIV 陽性患者に視神経炎にて発症した神経梅毒の一例

藤澤文絵<sup>1)</sup>、近藤 健<sup>1)</sup>、橋野 聡<sup>1)</sup>、加畑 馨<sup>1)</sup>、  
渡部恵子<sup>2)</sup>、大野稔子<sup>2)</sup>、今村顕史<sup>3)</sup>、浅香正博<sup>1)</sup>

1) 北海道大学大学院医学研究科 病態内科学講座 第三内科  
2) 北海道大学病院 看護部  
3) 東京都立駒込病院 感染症科

### O-161 当施設における HIV 感染症と中枢神経系合併症

伊藤俊広<sup>1)</sup>、佐藤 功<sup>1)</sup>、鈴木博義<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター血液内科  
2) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター病理検査

### O-162 当センターの HIV 感染者における脳トキソプラズマ症例の検討

阿部泰尚、神村麻穂子、近江恭子、渡辺恒二、  
松村次郎、渡辺珠代、本田元人、中村匡宏、  
矢崎博久、田沼順子、本田美和子、源河いくみ、  
瀧永博之、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、  
岡 慎一

国立国際医療センターエイズ治療開発センター

### O-163 AIDS に合併した進行性多巣性白質脳症 11 例の臨床的検討

本田元人、近江恭子、松村次郎、神村麻穂子、  
渡辺恒二、渡辺珠代、中村匡宏、阿部泰尚、  
矢崎博久、田沼順子、本田美和子、源河いくみ、  
瀧永博之、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、  
岡 慎一

国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

# 一般演題

## O-164 HIV 患者の脳内病変において脳生検が有用であった3例

上平朝子<sup>1)</sup>、笹川 淳<sup>1)</sup>、椎木創一<sup>1)</sup>、竹田雅司<sup>2)</sup>、  
富成伸次郎<sup>1)</sup>、渡邊 大<sup>1)</sup>、牧江俊雄<sup>1)</sup>、山本善彦<sup>1)</sup>、  
真能正幸<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>3)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科  
2) 国立病院機構大阪医療センター臨床検査診断部  
3) HIV/AIDS 先端医療開発センター

■日時：12月1日(金)10:00～11:20

■会場：学術総合センター (G会場・H会場)

### 治療薬開発・薬物動態・耐性

座長 馬場 昌範

(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)

## O-165 複数のプロテアーゼ阻害剤 (PIs) 耐性変異株の mixture を用いた darunavir/TMC114 (DRV) 高度耐性 HIV 変異体の試験管内誘導

砥綿知美<sup>1)</sup>、関 康博<sup>1)</sup>、ArunGhosh<sup>2)</sup>、  
満屋裕明<sup>1)</sup>

1) 熊本大学大学院医学薬学研究部・血液内科学・感染免疫診療部  
2) Departments of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue University

## O-166 bis-Tetrahydrofuranylurethane(bis-THF) 構造を有する新規のプロテアーゼ阻害剤 (PI)GRL-98065 の同定と抗 HIV 活性の検討

天野将之<sup>1)</sup>、関 康博<sup>1)</sup>、ArunGhosh<sup>2)</sup>、  
満屋裕明<sup>1)</sup>

1) 熊本大学大学院医学薬学研究部・血液内科学・感染免疫診療部  
2) Departments of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue University

## O-167 アロフェニルノルスタチンを導入した低分子 HIV プロテアーゼ阻害剤を探索する

日高興士<sup>1)</sup>、木村 徹<sup>1)</sup>、  
HamdyM.Abdel-Rahman<sup>1)</sup>、松本 光<sup>1)</sup>、  
田中良明<sup>1)</sup>、香月紀子<sup>1)</sup>、KeithF.McDaniel<sup>2)</sup>、  
TatyanaDekhtyar<sup>2)</sup>、LynnColletti<sup>2)</sup>、  
林 良雄<sup>1)</sup>、木曾良明<sup>1)</sup>

1) 京都薬科大学・創薬科学フロンティア研究センター・21世紀 COE プログラム  
2) Abbott Laboratories

## O-168 CCR5 阻害剤の活性発現に関連する CCR5 の多分子間相互作用の解析

東條 靖、中田浩智、前田賢次、青木宏美、  
満屋裕明

熊本大学大学院医学薬学研究部・血液内科学・感染免疫診療部

## O-169 新規 HIV インテグラーゼ阻害剤 JTK-303/GS-9137 の抗 HIV 活性および耐性機序の解析

志村和也<sup>1)</sup>、児玉栄一<sup>1)</sup>、池田 了<sup>2)</sup>、松岡雅雄<sup>1)</sup>

1) 京都大学ウイルス研究所附属エイズ研究施設 感染免疫研究領域  
2) 日本たばこ産業株式会社 医薬総合研究所

## O-170 HIV-1 の逆転写酵素に内在する RNase H 活性阻害薬の開発 (1) - 小分子化合物ライブラリーからのスクリーニング

駒野 淳、姉崎裕介、二橋悠子、磯貝まや、  
武部 豊、山本直樹

国立感染症研究所 エイズ研究センター

## O-171 HIV-1 の逆転写酵素に内在する RNase H 活性阻害薬の開発 - in silico 解析による作用機序解析と最適化の試み -

藤 秀義<sup>1)</sup>、辰巳絢子<sup>1)</sup>、駒野 淳<sup>2)</sup>、星野忠次<sup>3)</sup>

1) 千葉大学大学院医学薬学府  
2) 国立感染症研究所エイズ研究センター  
3) 千葉大学大学院薬学研究院、PREST, JST

## O-172 薬剤耐性 HIV が投薬前に既に存在する確率に関する数理的研究

波江野洋、巖佐 庸

九州大学大学院理学府生物学科

■日時：12月2日(土)9:00～9:40

■会場：日本教育会館 (B会場)

### 看護研修

座長 村上 未知子

(東京大学医科学研究所附属病院)

## O-173 当院における HIV/AIDS 看護の意識調査

宮城京子<sup>1)</sup>、健山正男<sup>2)</sup>、當間美奈子<sup>1)</sup>、黛 生世<sup>1)</sup>、  
粟盛みなみ<sup>1)</sup>、又吉恵子<sup>1)</sup>、謝花万壽子<sup>1)</sup>、  
石川章子<sup>1)</sup>、原永修作<sup>2)</sup>、比嘉 太<sup>2)</sup>、藤田次郎<sup>2)</sup>

1) 琉球大学医学部附属病院  
2) 琉球大学医学部第一内科

## O-174 『HIV 患者のケアに対する看護師の不安』に関連する因子の検討 (第2報)

～看護師における HIV 感染症に対するイメージの質的検討～

金沢小百合<sup>1)</sup>、杉田美佳<sup>1)</sup>、中田彩子<sup>1)</sup>、紺野和子<sup>1)</sup>、  
西岡みどり<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療センター  
2) 国立看護大学校



# 一般演題

## O-175 当院における効果的な研修内容の検討 -HIV 感染症に対するブロック拠点病院看護師の知識調査の分析より -

小川良子<sup>1)</sup>、木佐貫尚美<sup>1)</sup>、木下一枝<sup>1)</sup>、和田良香<sup>1)</sup>、後藤文子<sup>2)</sup>、新家幸子<sup>1)</sup>、山谷恵子<sup>1)</sup>

1) 広島大学病院 看護部

2) 広島大学病院 財団法人エイズ予防財団 リサーチレジデント

## O-176 インタビュー結果に基づいた項目に対する看護師研修会の効果に関する研究

後藤文子<sup>1)</sup>、久保美由紀<sup>2)</sup>、山谷恵子<sup>2)</sup>、小川良子<sup>2)</sup>、喜花伸子<sup>2)</sup>、藤井輝久<sup>2)</sup>、高田 昇<sup>2)</sup>

1) 広島大学病院、エイズ予防財団リサーチレジデント

2) 広島大学病院

■日時：12月2日(土)9:40～10:30

■会場：日本教育会館 (B会場)

### 受診継続支援

座長 有馬 美奈

(東京都保険医療公社荏原病院)

## O-177 HIV/AIDS 患者の療養過程における看護支援の検討 <第3報> ～HAART療法開始前後に焦点をあてて～

竹林早苗<sup>1)</sup>、小田みどり<sup>1)</sup>、松山奈央<sup>1)</sup>、安達理恵<sup>1)</sup>、上田敦久<sup>1)</sup>、奥山 恵<sup>2)</sup>、平井和恵<sup>3)</sup>、渡部節子<sup>3)</sup>

1) 公立大学法人横浜市立大学附属病院

2) 横浜市健康福祉局

3) 横浜市立大学医学部看護学科

## O-178 劇症型赤痢アメーバ腸炎から人工肛門造設となった HIV 感染者に対する支援

中野久美子<sup>1)</sup>、小谷岳春<sup>1)</sup>、山田三枝子<sup>2)</sup>、上田幹夫<sup>1)</sup>

1) 石川県立中央病院

2) 石川県立中央病院 (財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント)

## O-179 HIV/AIDS 患者の Quality of Life 向上のための臨床におけるケアに関する一考察

島田 恵<sup>1)</sup>、石垣今日子<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、武田謙治<sup>1)</sup>、山田由紀<sup>1)</sup>、畑中祐子<sup>1)</sup>、大野稔子<sup>2)</sup>、内山正子<sup>3)</sup>、山下郁江<sup>4)</sup>、山田由美子<sup>5)</sup>、織田幸子<sup>6)</sup>、城崎真弓<sup>7)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>、木村 哲<sup>8)</sup>

1) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

2) 北海道大学病院

3) 新潟大学医学部総合病院

4) 石川県立中央病院

5) NHO 名古屋医療センター

6) NHO 大阪医療センター

7) NHO 九州医療センター

8) 東京通信病院

## O-180 当センター HIV/AIDS 患者の受診継続支援の検討 (1)

池田和子<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、武田謙治<sup>1)</sup>、山田由紀<sup>1)</sup>、畑中祐子<sup>1)</sup>、石垣今日子<sup>1)</sup>、井上誉子<sup>1)</sup>、矢野麻子<sup>1)</sup>、島田 恵<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療センター / エイズ治療・研究開発センター

2) 国立国際医療センター / エイズ治療・研究開発センター

## O-181 当センター HIV/AIDS 患者の受診継続支援の検討 (2) - 受診間隔があいた患者の医療費に関する研究 -

畑中祐子、池田和子、島田 恵、武田謙二、大金美和、石垣今日子、山田由紀、井上誉子、矢野麻子、岡 慎一

国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

■日時：12月2日(土)10:40～11:20

■会場：日本教育会館 (B会場)

### 母子支援

座長 関矢 早苗

(東京都立駒込病院 看護部)

## O-182 HIV 感染妊婦に対する看護の検討 (その1) ～外来看護について～

大金美和<sup>1)</sup>、三島典子<sup>2)</sup>、楯 朋子<sup>3)</sup>、井上誉子<sup>1)</sup>、矢野麻子<sup>1)</sup>、石垣今日子<sup>1)</sup>、畑中祐子<sup>1)</sup>、山田由紀<sup>1)</sup>、武田謙治<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、島田 恵<sup>1)</sup>、与那嶺辰美<sup>3)</sup>

1) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

2) 独立行政法人国立病院機構埼玉病院

3) 国立国際医療センター産婦人科病棟

# 一般演題

O-183 HIV 感染妊婦の看護支援の検討 (その2)  
～病棟看護について～  
三島典子<sup>1)</sup>、大金美和<sup>2)</sup>、楯 朋子<sup>3)</sup>、  
井上誉子<sup>2)</sup>、矢野麻子<sup>2)</sup>、石垣今日子<sup>2)</sup>、畑中祐子<sup>2)</sup>、  
山田由紀<sup>2)</sup>、武田謙治<sup>2)</sup>、池田和子<sup>2)</sup>、島田 恵<sup>2)</sup>、  
与那嶺辰美<sup>3)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構埼玉病院
- 2) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
- 3) 国立国際医療センター産婦人科病棟

O-184 女性感染者の支援—産婦人科受診と看護支援について考える—  
橋口桂子、山田由美子、野口明子、濱口元洋  
国立病院機構名古屋医療センター

O-185 国立国際医療センターに通院中の HIV 感染児への服薬支援の現状と課題  
山田由紀<sup>1)</sup>、畑中祐子<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、早川依里子<sup>2)</sup>、  
井上誉子<sup>1)</sup>、矢野麻子<sup>1)</sup>、武田謙治<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、  
島田 恵<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立国際医療センター小児科

■日時：12月2日(土)11:20～12:00

■会場：日本教育会館 (B 会場)

## 在宅療養支援

座長 池田 和子  
(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

O-186 高齢者独居患者への抗 HIV 療法導入後の支援と課題  
野口明子<sup>1)</sup>、山田由美子<sup>1)</sup>、平野 淳<sup>2)</sup>、横幕能行<sup>3)</sup>、  
間宮均人<sup>3)</sup>、濱口元洋<sup>4)</sup>

- 1) 独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター 看護部
- 2) 名古屋医療センター 薬剤科
- 3) 名古屋医療センター 感染症科
- 4) 名古屋医療センター 臨床研究センター止血・血栓研究部

O-187 寝たきりエイズ患者の在宅療養継続支援を通して拠点病院病棟看護師の役割を考える (第2報)  
木下彩子<sup>1)</sup>、平井洋子<sup>1)</sup>、久保悦子<sup>2)</sup>、  
佐々木君枝<sup>1)</sup>

- 1) 千葉大学医学部附属病院看護部
- 2) 千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部

O-188 寝たきりエイズ患者の在宅療養支援野経験を通して訪問看護師の役割を考える  
高梨恵美子

しらはた訪問看護ステーション

O-189 AIDS 患者の地域ケアマネジメント  
梨木京子<sup>1)</sup>、岩本和子<sup>2)</sup>、田中幸代子<sup>3)</sup>、安西順子<sup>4)</sup>、  
秋元義幸<sup>5)</sup>、玉井典子<sup>5)</sup>、金田 暁<sup>6)</sup>、圓岡大典<sup>6)</sup>、  
新井尚美<sup>6)</sup>、石川雅子<sup>7)</sup>

- 1) ハイネス居宅介護支援事業所
- 2) 松戸健康福祉センター
- 3) 株式会社 ヘルシーサービス 松戸営業所
- 4) 宅老所・デイサービス 「ひぐらしの家」
- 5) 株式会社 友愛メディカル ゆうかり薬局
- 6) 国立病院機構千葉医療センター
- 7) 千葉県健康福祉部感染症対策室

■日時：12月2日(土)9:00～9:50

■会場：日本教育会館 (C 会場)

## Nef・Vpr・Vpx

座長 足立 昭夫  
(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ウイルス病原学分野)

O-190 Nef は M-CSF 受容体の発現低下を誘導する  
鈴 伸也、日吉真照、吉富友香、原田英樹、  
岡田誠治  
熊本大学エイズ学研究センター予防開発分野

O-191 HIV-1 Nef Down-regulates Lipid Antigen Presentation by CD1a on Immature Dendritic cells: implications for the lipid antigen as AIDS vaccine candidates  
新谷英滋、清水真澄、大脇敦子、渡辺恵理、  
日高千鶴乃、高橋秀実  
日本医科大学 微生物学・免疫学教室

O-192 自然免疫系のサイトカイン産生に対する HIV-1 Nef の影響  
林 隆也<sup>1)</sup>、古川裕之<sup>1)</sup>、西辻裕紀<sup>2)</sup>、増田貴夫<sup>1)</sup>、  
神奈木真理<sup>1)</sup>  
1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科免疫治療学  
2) エイズ予防財団

O-193 進化的手法を用いた HIV-1 Vpr 蛋白質の変異解析  
竹嶋伸之輔、陳 晶、宮武秀行、間 陽子  
理化学研究所・中央研究所

# 一般演題

O-194 HIV-2 Vpx の機能領域解析  
藤田美歌子、長尾多美子、足立昭夫  
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 ウイルス病  
原学分野

■日時：12月2日(土)10:00～10:50  
■会場：日本教育会館(C会場)

## Vif・APOBEC3G

座長 高折 晃史  
(京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学)

O-195 HIV-1 Vif 蛋白における Gag p2/NC プロ  
セシング制御に関わる新しい機能ドメイン  
李 永仲、飯島沙幸、明里宏文  
医薬基盤研 霊長類医学研究センター

O-196 HIV-1 Vif のユビキチン化の分子メカニズム  
泉 泰輔、高折晃史、白川康太郎、  
AierkenAbudu、内山 卓  
京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学

O-197 Protein Kinase A による APOBEC3 G  
のリン酸化と機能調節  
白川康太郎、高折晃史、泉 泰輔、  
AierkinAbudu、内山 卓  
京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学

O-198 ラット APOBEC 分子による HIV 複製の抑制  
小糸 厚<sup>1)</sup>、柴田潤二<sup>1)</sup>、池田輝政<sup>1)</sup>、大杉剛生<sup>2)</sup>  
1)熊本大学エイズ学研究中心  
2)熊本大学生命資源研究支援センター

O-199 Murine leukemia virus escapes from  
murine APOBEC3 via two distinct  
novel mechanisms.  
AIERKENABUDU、高折晃史、白川康太郎、  
泉 泰輔、内山 卓  
京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学

■日時：12月2日(土)9:00～10:20  
■会場：日本教育会館(D会場)

## コミュニティと予防啓発

座長 佐藤 未光  
(ひかりクリニック・Rainbow Ring)

O-200 東北地域における男性同性間の HIV/STI  
感染予防啓発の普及促進～ゲイ CBO  
「THCGV やろっこ」の活動展開  
太田 貴<sup>1)</sup>、佐藤 功<sup>2)</sup>、小浜耕治<sup>1)</sup>  
1)東北HIVコミュニケーションズ(THC)  
2)国立病院機構仙台医療センター

O-201 東北地域における男性同性間の HIV/STI  
感染予防啓発の普及促進～市民の視点での  
ネットワーク構築  
小浜耕治<sup>1)</sup>、佐藤 功<sup>2)</sup>、太田 貴<sup>1)</sup>  
1)東北HIVコミュニケーションズ(THC)  
2)国立病院機構仙台医療センター

O-202 商業施設以外における予防介入の可能性と、  
自治体との連携について(野外ハッテン場  
アウトリーチ、バレーボール大会から)  
星野国夫<sup>1)</sup>  
1)横浜 Cruise ネットワーク  
2)神奈川県保健福祉部健康増進課

O-203 ゲイを対象としたワークショップ  
「LIFEGUARD」の普及—全国23ヶ所での  
実施とコミュニティアウトリーチプロセス  
藤部荒術<sup>1)</sup>、嶋田憲司<sup>1)</sup>、鳩貝啓美<sup>1)</sup>、新美 広<sup>1)</sup>、  
宮近敬三<sup>1)</sup>、柏崎正雄<sup>2)</sup>  
1)特定非営利活動法人 動くゲイとレスビアンの会  
2)(財)エイズ予防財団

O-204 ゲイを対象としたワークショップ  
「LIFEGUARD」の効果—継続介入とクチ  
コミ普及の分析  
嶋田憲司<sup>1)</sup>、柏崎正雄<sup>2)</sup>、鳩貝啓美<sup>1)</sup>、新美 広<sup>1)</sup>、  
太田昌二<sup>1)</sup>、藤部荒術<sup>1)</sup>、河口和也<sup>3)</sup>  
1)特定非営利活動法人 動くゲイとレスビアンの会  
2)(財)エイズ予防財団  
3)広島修道大学

# 一般演題

O-205 コミュニティスペース "dista" における対話型 HIV / STI 予防啓発プログラムの実践に関する研究  
土井信吾<sup>1)</sup>、内田 優<sup>1)</sup>、中村英芳<sup>1)</sup>、金子典代<sup>2)</sup>、大森佐知子<sup>2)</sup>、鬼塚哲郎<sup>3)</sup>  
1)MASH 大阪  
2)名古屋市立大学大学院看護学研究科  
3)京都産業大学 /MASH 大阪

O-206 ハームリダクションプログラムの理解と日本における活用  
古藤吾郎<sup>1)</sup>、嶋根卓也<sup>2)</sup>、吉田智子<sup>3)</sup>  
1)アジア太平洋地域アディクション研究所  
2)順天堂大学大学院医学研究科 疫学・環境医学専攻  
3)QQ\*

O-207 薬物依存症者の HIV 感染リスク行動に関する研究 - 認知行動療法に基づく再発防止プログラムより -  
嶋根卓也<sup>1)</sup>、森田展彰<sup>3)</sup>  
1)順天堂大学大学院医学研究科  
2)国立精神・神経センター精神保健研究所薬物依存研究部  
3)筑波大学大学院人間総合科学研究科

■日時：12月2日(土)10:30～11:30

■会場：日本教育会館(D会場)

## MSM・行動疫学

座長 木村 博和  
(横浜市南区保健福祉保健センター)

O-208 インターネットによる MSM 対象の行動疫学研究 REACH Online 2005 - 第1報 - HIV 抗体検査受検行動と HIV・梅毒・B型肝炎の既往歴  
日高庸晴<sup>1)</sup>、市川誠一<sup>2)</sup>、木村博和<sup>3)</sup>、鎌倉光宏<sup>4)</sup>  
1)慶應義塾大学看護医療学部/エイズ予防財団  
2)名古屋市立大学看護学部  
3)横浜市南保健福祉センター  
4)慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科

O-209 インターネットによる MSM 対象の行動疫学研究 REACH Online 2005 - 第2報 - HIV 感染予防行動の実際と阻害要因  
日高庸晴<sup>1)</sup>、木村博和<sup>2)</sup>、鎌倉光宏<sup>3)</sup>、市川誠一<sup>4)</sup>  
1)慶應義塾大学看護医療学部/エイズ予防財団  
2)横浜市南保健福祉センター  
3)慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科  
4)名古屋市立大学看護学部

O-210 東京における MSM 向け予防啓発プロジェクトの評価に関する研究  
木村博和<sup>1)</sup>、佐藤未光<sup>2)</sup>、張由紀夫<sup>3)</sup>、市川誠一<sup>4)</sup>  
1)横浜市南区福祉保健センター  
2)ひかりクリニック、東京大学医科学研究所先端医療研究センター/Rainbow Ring  
3)Rainbow Ring  
4)名古屋市立大学大学院

O-211 首都圏のゲイおよびバイセクシュアル男性を対象とした HIV 治療的楽観論とコンドーム使用行動及び心理的要因との関連  
奥田剛士、兒玉憲一  
広島大学大学院教育学研究科

O-212 大阪地域の予防介入プログラムの評価と HIV 感染予防行動の関連要因に関する研究  
金子典代<sup>1)</sup>、大森佐知子<sup>1)</sup>、木村博和<sup>2)</sup>、辻 宏幸<sup>3)</sup>、鬼塚哲郎<sup>3)</sup>、市川誠一<sup>1)</sup>  
1)名古屋市立大学大学院 看護学研究科  
2)横浜市南区福祉保健課  
3)MASH 大阪

O-213 MSM コミュニティの規模を推定するための社会地理学的研究 - 大阪市北区堂山町周辺を事例として -  
山田創平<sup>1)</sup>、鬼塚哲郎<sup>2)</sup>  
1) (財)エイズ予防財団、MASH大阪  
2)京都産業大学 /MASH 大阪

■日時：12月2日(土)11:40～12:20

■会場：日本教育会館(D会場)

## 陽性者支援②

座長 小島 賢一  
(荻窪病院)

O-214 社会的支援への基礎的調査 - 抗 HIV 薬の費用と予測 (2005年) -  
小島賢一<sup>1)</sup>、堀 成美<sup>3)</sup>、山元泰之<sup>2)</sup>  
1)荻窪病院血液科  
2)東京 HIV 診療ネットワーク  
3)HIV/AIDS 看護研究会

O-215 HIV 陽性者の制度利用と手続き代行の必要性～陽性者の自立を支援する～  
岡本 学、下司有加、織田幸子、松岡暖菜、白阪琢磨  
独立行政法人

# 一般演題

## O-216 帰国したタイ人 AIDS 患者の治療アクセスに関する聴き取り調査

内野ナンティヤ<sup>1)</sup>、李 祥任<sup>2)</sup>、沢田貴志<sup>2)</sup>

1) HIV/AIDS 在日外国人支援ネットワーク

2) (特活) シェア=国際保健協力市民の会

## O-217 解決志向的な心理社会支援カンファレンス実施方法に関する研究

船附祥子<sup>1)</sup>、大下由美<sup>2)</sup>、喜花伸子<sup>3)</sup>、佐藤文香<sup>3)</sup>、内野悌司<sup>4)</sup>、兒玉憲一<sup>5)</sup>、高田 昇<sup>1)</sup>

1) 広島大学病院エイズ医療対策室

2) 県立広島大学保健福祉学部

3) 広島大学病院エイズ医療対策室、エイズ予防財団リサーチレジデント

4) 広島大学保健管理センター

5) 広島大学大学院教育学研究科心理学講座

■日時：12月2日(土)9:30～10:30

■会場：学術総合センター (F 会場)

### 耐性 I

座長 白阪 琢磨

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)

## O-218 2003-2005 年の新規 HIV-1 感染者における薬剤耐性頻度の動向

藤野真之

国立感染症研究所

## O-219 過去 6 年間の未治療 HIV-1 感染患者に見出された薬剤耐性ウイルスの検出率とウイルスの特徴

伊部史朗、藤崎誠一郎、重見 麗、服部純子、

横幕能行、間宮均人、濱口元洋、金田次弘

国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター

## O-220 東京都内で検出された HIV-1 の Protease 遺伝子の解析

貞升健志、長島真美、新開敬行、吉田靖子、

山田澄夫

東京都健康安全研究センター微生物部

## O-221 NRTI を含む治療中に誘導された新しいネビラピン (NVP) 耐性変異

蜂谷敦子<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>、兒玉栄一<sup>4)</sup>、松岡雅雄<sup>4)</sup>、

滝口雅文<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター 熊本大学 エイズ学研究センター ウイルス制御分野

2) 国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター

3) 熊本大学 エイズ学研究センター ウイルス制御分野

4) 京都大学 ウイルス研究所エイズ研究施設 感染免疫領域

## O-222 良好な HIV 治療中に合併した梅毒感染前後での HIV プロウイルス塩基配列の変化

古賀一郎<sup>1)</sup>、小田原隆<sup>2)</sup>、松田昌和<sup>3)</sup>、杉浦 互<sup>3)</sup>、

後藤美江子<sup>1)</sup>、中村哲也<sup>2)</sup>、岩本愛吉<sup>1)</sup>

1) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

2) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

## O-223 ATV,FPV 併用療法が奏効した全クラス高度耐性 HIV-1 感染者の一例

横幕能行、奥村直哉、平野 淳、高橋昌明、

間宮均人、濱口元洋

名古屋医療センター

■日時：12月2日(土)10:40～11:40

■会場：学術総合センター (F 会場)

### 耐性 II

座長 杉浦 互

(国立感染症研究所)

## O-224 HIV-1 逆転写酵素 polymerase active site への薬剤耐性変異が誘導する RNase H 活性の低下と耐性亢進への寄与

駒野 淳<sup>1)</sup>、二橋悠子<sup>1)</sup>、磯貝まや<sup>1)</sup>、浜武牧子<sup>1)</sup>、

松田善衛<sup>1)</sup>、佐藤裕徳<sup>2)</sup>、椎野貞一郎<sup>1)</sup>、武部 豊<sup>1)</sup>、

山本直樹<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

2) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析センター

## O-225 CRF01\_AE HIV-1 における NFV 耐性変異 N88S の出現メカニズムに関する構造学的知見

大出裕高<sup>1)</sup>、松山 翔<sup>1)</sup>、柿澤淳子<sup>2)</sup>、杉浦 互<sup>2)</sup>、

星野忠次<sup>1)</sup>

1) 千葉大学大学院薬学研究院

2) 国立感染症研究所エイズ研究センター

# 一般演題

O-226 プロテアーゼ阻害剤耐性獲得に関与する Gag matrix (p17) 領域 C 末端挿入変異の解析  
青木 学、青木宏美、満屋裕明  
熊本大学大学院医学薬学研究部・血液内科学・感染免疫診療部

O-227 Heterodimer Protease Formation ; プロテアーゼ阻害剤 (PIs) に対する耐性発現の新しい機序の解析  
関 康博<sup>1)</sup>、松見信太郎<sup>1)</sup>、中山真紀<sup>1)</sup>、塩田達雄<sup>2)</sup>、満屋裕明<sup>1)</sup>  
1)熊本大学大学院医学薬学研究部・血液内科学・感染免疫診療部  
2)大阪大学微生物病研究所・ウイルス感染制御分野

O-228 HIV-1 遺伝子型薬剤耐性検査のバリデーション  
藤崎誠一郎<sup>1)</sup>、藤崎彩恵子<sup>1)</sup>、伊部史朗<sup>1)</sup>、浅黄 司<sup>2)</sup>、吉田 繁<sup>3)</sup>、正兼亜季<sup>4)</sup>、大家正泰<sup>5)</sup>、渡邊香奈子<sup>6)</sup>、瀧永博之<sup>7)</sup>、松田昌和<sup>8)</sup>、貞升健志<sup>9)</sup>、岡田清美<sup>10)</sup>、近藤真規子<sup>11)</sup>、秦 眞美<sup>12)</sup>、溝上泰司<sup>13)</sup>、森 治代<sup>14)</sup>、南 留美<sup>15)</sup>、杉浦 互<sup>8)</sup>、金田次弘<sup>1)</sup>  
1)名古屋医療センター  
2)仙台医療センター  
3)北海道大学病院  
4)石川県立中央病院  
5)新潟大学大学院  
6)新潟保健環境科学研究所  
7)国際医療センター  
8)国立感染症研究所  
9)東京都健康安全研究センター  
10)北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所  
11) 神奈川県衛生研究所  
12) 愛知県衛生研究所  
13) 大阪医療センター  
14) 大阪府立公衆衛生研究所  
15) 九州医療センター

O-229 V108I polymorphism が EFV 耐性の誘導に及ぼす影響  
森 治代、小島洋子、川畑拓也、大竹 徹  
大阪府立公衆衛生研究所ウイルス課

■日時：12月2日(土)9:30～10:20  
■会場：学術総合センター (G 会場)

## 宿主因子

座長 塩田 達雄  
(大阪大学微生物研究所)

O-230 NAF-1 による HIV-1 複製抑制メカニズムの解析  
山本典生、山本直樹  
東京医科歯科大学大学院ウイルス制御学

O-231 ラット細胞における HIV-1 複製の前期過程を阻害する宿主因子の解析  
鈴木 元、藤澤文絵、大橋 貴、志田壽利  
北海道大学遺伝子病研究所 感染病態分野

O-232 ヒト細胞因子に対する siRNA library を用いた HIV-1 複製に関与する宿主因子の検索  
北川友紀子<sup>1)</sup>、亀岡正典<sup>2)</sup>、岩部幸枝<sup>1)</sup>、小路早苗<sup>1)</sup>、生田和良<sup>1)</sup>  
1)大阪大学微生物病研究所・ウイルス免疫分野  
2)大阪大学微生物病研究所・タイ感染症共同研究センター

O-233 T 細胞の OX40L による HIV-1 増殖調節  
近藤佳代、張 麗峰、児玉 晃、田中礼子、大隈 和、田中勇悦  
琉球大学大学院医学研究科免疫学分野

O-234 Polymorphisms in CCR5 chemokine receptor gene in Japan  
EmiNakayama<sup>1)</sup>、HuanliangLiu<sup>1)</sup>、YoshiyukiNagai<sup>2)</sup>、Aikichilwamoto<sup>3)</sup>、TatsuoShioda<sup>1)</sup>  
1)Research Institute for Microbial Disease, Osaka University, Osaka, Japan  
2)Center of Research Network for Infectious Diseases, RIKEN, Tokyo, Japan  
3)Institute of Medical Science, University of Tokyo, Tokyo, Japan

# 一般演題

■日時：12月2日(土)10:30～11:40

■会場：学術総合センター (G会場)

## 免疫担当細胞

座長 神奈木 真理  
(東京医科歯科大学)

### O-235 NKT細胞による X4-type HIV-1 の感染拡大

日高千鶴乃、渡邊恵里、清水真澄、山西慎吾、  
新谷英滋、高橋秀実  
日本医科大学微生物免疫学教室

### O-236 CCR5, CXCR4 架橋による R5 及び X4 HIV-1 の感染制御

田中勇悦、田中礼子、大隈 和  
琉球大学大学院医学研究科免疫学分野

### O-237 HIV-1 による樹状細胞の分化誘導阻害

児玉 晃、近藤佳代、張 麗峰、田中礼子、  
大隈 和、田中勇悦  
琉球大学大学院医学研究科免疫学分野

### O-238 Overlap peptide を用いた HLA B\*4006 拘束性 HIV-1 特異的 CTL エピトープの同定

本田一貴<sup>1)</sup>、小泉寛和<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>、滝口雅文<sup>1)</sup>  
1)熊本大学 エイズ学研究センター ウイルス制御分野  
2)国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

### O-239 Identification of CD4+ T cell Epitopes Restricted by HLA alleles Widespread in Japanese Population by using 17-mer Overlapping Peptides

ZhengNan<sup>1)</sup>、OkaShinichi<sup>2)</sup>、  
TakiguchiMasafumi<sup>1)</sup>  
1)熊本大学エイズ学研究センター ウイルス制御分野  
2)国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

### O-240 HIV 特異的 CTL の抗ウイルス機能低下要因を探る

上野貴将<sup>1)</sup>、本園千尋<sup>1)</sup>、道木佐知<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>、  
滝口雅文<sup>1)</sup>  
1)熊本大学エイズ学研究センター  
2)国立国際医療センター

O-241 HIV-1 感染 CD4<sup>+</sup>T 細胞に対する HIV-1 特異的細胞傷害性 T 細胞の HIV-1 抑制能の解析  
岩谷知美、藤原 守、小泉寛和、滝口雅文  
熊本大学エイズ学研究センターウイルス制御分野

■日時：12月2日(土)9:30～10:30

■会場：学術総合センター (H会場)

## 薬物動態 I

座長 桑原 健  
(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター)

### O-242 硫酸アタザナピルの血中濃度と総ビリルビンとの関連

吉野宗宏<sup>1)</sup>、永井聡子<sup>1)</sup>、桑原 健<sup>1)</sup>、下司有加<sup>2)</sup>、  
織田幸子<sup>2)</sup>、笹川 淳<sup>3)</sup>、牧江俊雄<sup>3)</sup>、山本善彦<sup>3)</sup>、  
上平朝子<sup>3)</sup>、白阪琢磨<sup>3)</sup>  
1)国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科  
2)国立病院機構 大阪医療センター 看護部  
3)国立病院機構 大阪医療センター 免疫感染症科

### O-243 アタザナピルの薬物動態の個人差と適正投与に関する検討

平井愛山<sup>1)</sup>、向後謙二<sup>2)</sup>、今村茂樹<sup>1)</sup>、上野光一<sup>3)</sup>  
1)千葉県立東金病院 内科  
2)千葉県立東金病院 薬剤部  
3)千葉大学大学院薬学研究院

### O-244 唾液を用いた抗 HIV 薬の薬物動態の検討

加藤真吾<sup>1)</sup>、田中理恵<sup>1)</sup>、桑原 健<sup>2)</sup>、田上 正<sup>3)</sup>、  
前田憲昭<sup>4)</sup>  
1)慶応義塾大学 医学部 微生物学・免疫学教室  
2)独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 薬剤科  
3)国立国際医療センター 歯科口腔外科  
4)医療法人社団皓歯会

### O-245 細胞内における抗 HIV 薬 (プロテアーゼ阻害剤) の薬剤濃度のモニタリング

西澤雅子<sup>1)</sup>、加藤真吾<sup>2)</sup>、三浦秀佳<sup>1)</sup>、山本直樹<sup>1)</sup>、  
杉浦 互<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所エイズ研究センター  
2)慶応大学医学部

### O-246 LC/MS を用いた簡便なテノホビル血中濃度測定法の開発

高橋昌明<sup>1)</sup>、久高祐一<sup>1)</sup>、奥村直哉<sup>1)</sup>、平野 敦<sup>1)</sup>、  
鈴木達男<sup>1)</sup>、金田次弘<sup>2)</sup>  
1)国立病院機構名古屋医療センター薬剤科  
2)国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

# 一般演題

O-247 ツルバダ<sup>®</sup>錠（エムトリシタピン・テノホビル DF 配合剤）の日本人健康成人男性を対象とした薬物動態試験  
古家英寿<sup>1)</sup>、西野一郎<sup>1)</sup>、松隈京子<sup>1)</sup>、入江 伸<sup>1)</sup>、尾崎秀樹<sup>2)</sup>

1)医療法人相生会 九州臨床薬理クリニック  
2)日本たばこ産業株式会社 医薬事業部 臨床開発部

■日時：12月2日(土)10:30～11:30

■会場：学術総合センター（H会場）

## 薬物動態 II

座長 瀧永 博之

(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

O-248 Efavirenz の血中濃度に関わる cytochrome P450 2B6 の遺伝子多型についての日本人とザンビア人の比較

林田庸総、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一  
国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

O-249 テノホビル服用患者の血中濃度と腎障害との関係  
久高祐一<sup>1)</sup>、奥村直哉<sup>1)</sup>、平野 淳<sup>1)</sup>、林 誠<sup>1)</sup>、野口明子<sup>2)</sup>、山田由美子<sup>2)</sup>、高橋昌明<sup>1)</sup>、鈴木達男<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>3)</sup>、間宮均人<sup>3)</sup>、濱口元洋<sup>4)</sup>、金田次弘<sup>4)</sup>

1)国立病院機構名古屋医療センター 薬剤科  
2)国立病院機構名古屋医療センター 看護部  
3)国立病院機構名古屋医療センター 感染症科  
4)国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター

O-250 HIV 関連肺高血圧症に対するボセンタンとプロテアーゼ阻害剤との併用

藤井輝久<sup>1)</sup>、高田 昇<sup>1)</sup>、斉藤誠司<sup>1)</sup>、石川暢恒<sup>3)</sup>、木村昭郎<sup>2)</sup>、藤田啓子<sup>4)</sup>、畝井浩子<sup>4)</sup>

1)広島大学病院輸血部  
2)広島大学病院血液内科  
3)広島大学病院エイズ医療対策室  
4)広島大学病院薬剤部

O-251 Fosamprenavir 併用時の Voriconazole の血中濃度変化

藤本勝也<sup>1)</sup>、山本 聡<sup>1)</sup>、西尾充史<sup>1)</sup>、佐藤典宏<sup>2)</sup>、小池隆夫<sup>1)</sup>

1)北海道大学大学院医学研究科免疫・代謝内科学分野(第二内科)  
2)北海道大学病院輸血部

O-252 抗レトロウイルス薬を過量内服した一例  
関谷紀貴、高橋華子、相楽裕子

横浜市立市民病院

O-253 腎関連データを使ったフマル酸テノホビルジソプロキシルの血中濃度予測

牧江俊雄<sup>1)</sup>、永井聡子<sup>2)</sup>、笹川 淳<sup>1)</sup>、河村紀代美<sup>1)</sup>、桑原 健<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>1)</sup>

1)独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 免疫・感染症科  
2)独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部

■日時：12月2日(土)11:40～12:40

■会場：学術総合センター（H会場）

## 抗HIV療法 III

座長 根岸 昌功

(東京都立駒込病院 感染症科)

O-254 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第2報 CD4 値、HIV-RNA 量と抗 HIV 薬の変更との関連性

川戸美由紀<sup>1)</sup>、橋本修二<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>、吉崎和幸<sup>3)</sup>、木村 哲<sup>4)</sup>、福武勝幸<sup>5)</sup>、日笠 聡<sup>6)</sup>、白阪琢磨<sup>7)</sup>

1)藤田保健衛生大学 医学部 衛生学  
2)国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター  
3)大阪大学 保健センター  
4)東京通信病院  
5)東京医科大学 臨床検査医学  
6)兵庫医科大学 総合内科 血栓止血老年病科  
7)国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療センター

O-255 Predictors for the initial CD4 decline after antiretroviral treatment interruption in the SMART study

本田美和子、近江恭子、松村次郎、渡辺恒二、神村麻穂子、渡邊珠代、本田元人、中村匡宏、阿部泰尚、矢崎博久、田沼順子、源河いくみ、瀧永博之、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

O-256 Lopinavir(LPV/r) を含んだ HAART の長期成績に関する検討

照屋勝治、近江恭子、松村次郎、神村麻穂子、渡辺恒二、渡辺珠代、本田元人、中村匡宏、阿部泰尚、矢崎博久、田沼順子、本田美和子、瀧永博之、源河いくみ、立川夏夫、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター



# 一般演題

## O-257 HIV 急性感染症候群に対する抗 HIV 療法導入についての検討

笹川 淳<sup>1)</sup>、森 正彦<sup>2)</sup>、牧江俊雄<sup>1)</sup>、山本義彦<sup>1)</sup>、  
上平朝子<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科  
2) 長崎大学医学部

## O-258 レンチウイルスベクターを用いた DNAzyme の発現とその抗 HIV-1 活性

早船正哲<sup>1)</sup>、黒崎直子<sup>2)</sup>、毛利友香<sup>2)</sup>、高久 洋<sup>2)</sup>

1) 千葉工業大学工学部工学専攻  
2) 千葉工業大学 生命環境科学科

## O-259 HIV-1 のプロウイルスと mRNA 定量の臨床応用

金田次弘<sup>1)</sup>、永井裕美<sup>1)</sup>、伊部史朗<sup>1)</sup>、加堂真由<sup>1)</sup>、  
近藤恭子<sup>1)</sup>、水野善文<sup>1)</sup>、濱口元洋<sup>1)</sup>、間宮均人<sup>1)</sup>、  
横幕能行<sup>1)</sup>、星野 伸<sup>2)</sup>、村松友佳子<sup>2)</sup>、瀧本哲也<sup>1)</sup>、  
堀部敬三<sup>1)</sup>、井上孝実<sup>3)</sup>

1) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター  
2) 国立病院機構名古屋医療センター 小児科  
3) 国立病院機構名古屋医療センター 産婦人科

■日時：12月2日(土)13:00～14:20

■会場：日本教育会館 (D 会場)

## カウンセリング

座長 高田 知恵子

(創造学園大学 ソーシャルワーク学部)

## O-260 派遣カウンセリングの利用促進についての研究

神谷昌枝<sup>1)</sup>、石川雅子<sup>2)</sup>、折井佳穂里<sup>1)</sup>、  
阿曾加寿子<sup>3)</sup>、今井由三代<sup>4)</sup>、牧野麻由子<sup>5)</sup>、  
田中美砂子<sup>6)</sup>、土居加寿子<sup>7)</sup>、喜花伸子<sup>8)</sup>、  
児玉憲一<sup>9)</sup>、辻麻理子<sup>10)</sup>、山中京子<sup>11)</sup>

1) 東京都福祉保健局健康安全室感染症対策課  
2) 千葉県健康福祉部健康増進課  
3) 北海道保健福祉部疾病対策課  
4) 石川県健康福祉部健康推進課  
5) 新潟県福祉保健部健康対策課  
6) 静岡県健康福祉部疾病対策室感染症対策係  
7) 大阪府健康福祉部地域保健福祉室疾病対策課  
8) 広島大学病院エイズ医療対策室  
9) 広島大学大学院教育学研究科  
10) 国立病院九州医療センター感染症対策室  
11) 大阪府立大学社会福祉部

## O-261 インターネットによる MSM 対象の行動疫学研究 REACH Online 2005 - 第 3 報 - HIV 派遣カウンセラー・生活保護・更生医療等社会資源の認知率

日高庸晴<sup>1)</sup>、木村博和<sup>2)</sup>、鎌倉光宏<sup>3)</sup>、市川誠一<sup>4)</sup>

1) 慶應義塾大学看護医療学部 / エイズ予防財団  
2) 横浜市南保健福祉センター  
3) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科  
4) 名古屋市立大学看護学部

## O-262 電話相談の現状と課題

～今後の電話相談のあり方を考える～  
矢永由里子

(財) エイズ予防財団

## O-263 東京都エイズ専門相談派遣事業からみた外国人 HIV 陽性者の抱える問題

内野ナンティヤ<sup>1)</sup>、吉田幸子<sup>1)</sup>、神谷昌枝<sup>1)</sup>、  
吉田容子<sup>1)</sup>、高田知恵子<sup>1)</sup>、折井佳穂里<sup>1)</sup>、  
大木幸子<sup>1)</sup>、富永静子<sup>1)</sup>、飯田真美<sup>2)</sup>、野原永子<sup>1)</sup>、  
稲垣智一<sup>1)</sup>

1) 東京都福祉保健局健康安全室感染症対策課  
2) 東京都板橋ナーシングホーム

## O-264 HIV 感染者の心理・社会的問題と相談ニーズに関する予備的調査研究

内野悌司<sup>1)</sup>、藤原良次<sup>2)</sup>、橋本則久<sup>2)</sup>、椎村和義<sup>2)</sup>、  
平岡 毅<sup>3)</sup>、藤井輝久<sup>4)</sup>

1) 広島大学保健管理センター  
2) りょうちゃんず  
3) 広島県立広島病院  
4) 広島大学病院血液内科

## O-265 大阪医療センターにおける HIV 感染症患者の対人関係、メンタルヘルスと認知機能に関する調査：第 1 報

安尾利彦<sup>1)</sup>、尾谷ゆか<sup>2)</sup>、仲倉高広<sup>3)</sup>、織田幸子<sup>4)</sup>、  
下司有加<sup>4)</sup>、白阪琢磨<sup>5)</sup>

1) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター / エイズ予防財団  
2) 大阪医療センター精神神経科  
3) 大阪医療センター免疫感染症科  
4) 大阪医療センター看護部  
5) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

# 一般演題

O-266 大阪医療センターにおける HIV 感染症患者の対人関係、メンタルヘルスと認知機能に関する調査：第 2 報  
尾谷ゆか<sup>1)</sup>、仲倉高広<sup>2)</sup>、安尾利彦<sup>3)</sup>、織田幸子<sup>4)</sup>、  
下司有加<sup>4)</sup>、白阪琢磨<sup>5)</sup>

- 1) 大阪医療センター精神神経科
- 2) 大阪医療センター免疫感染症科
- 3) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター / エイス予防財団
- 4) 大阪医療センター看護部
- 5) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

O-267 大阪医療センターにおける HIV 感染症患者の対人関係、メンタルヘルスと認知機能に関する調査：第 3 報

仲倉高広<sup>1)</sup>、安尾利彦<sup>2)</sup>、尾谷ゆか<sup>3)</sup>、織田幸子<sup>4)</sup>、  
下司有加<sup>4)</sup>、白阪琢磨<sup>5)</sup>

- 1) 大阪医療センター免疫感染症科
- 2) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター / エイス予防財団
- 3) 大阪医療センター精神神経科
- 4) 大阪医療センター看護部
- 5) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

■日時：12月2日(土)14:30～15:30

■会場：日本教育会館 (D 会場)

## 薬害 HIV

座長 村上 典子

(神戸赤十字病院 心療内科)

O-268 薬害 HIV 感染被害者 (生存患者および家族) への質問紙調査 第 1 報：調査の概要及び患者の健康状態・受診・受療  
井上洋士<sup>1)</sup>、若林チヒロ<sup>2)</sup>、関由起子<sup>3)</sup>、清水由香<sup>4)</sup>、  
溝田友里<sup>5)</sup>、八巻知香子<sup>6)</sup>、山崎喜比古<sup>5)</sup>、  
伊藤美樹子<sup>7)</sup>、的場智子<sup>8)</sup>、大平勝美<sup>9)</sup>、小山昇孝<sup>9)</sup>、  
後藤智己<sup>9)</sup>、森戸克則<sup>9)</sup>

- 1) 三重県立看護大学成人看護学
- 2) 埼玉県立大学保健医療福祉学部
- 3) 埼玉大学教育学部
- 4) 大阪市立大学大学院生活科学研究科
- 5) 東京大学大学院医学系研究科健康社会学
- 6) 日本学術振興会
- 7) 大阪大学大学院総合ヘルスプロモーション科学
- 8) 東洋大学ライフデザイン学部
- 9) 薬害 HIV 感染被害者 (患者・家族) 生活実態調査委員会

O-269 薬害 HIV 感染被害者 (生存患者および家族) への質問紙調査第 2 報：就労・経済  
若林チヒロ<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>2)</sup>、関由起子<sup>3)</sup>、清水由香<sup>4)</sup>、  
溝田友里<sup>5)</sup>、八巻知香子<sup>6)</sup>、山崎喜比古<sup>5)</sup>、  
伊藤美樹子<sup>7)</sup>、的場智子<sup>8)</sup>、大平勝美<sup>9)</sup>、花井十伍<sup>9)</sup>、  
小山昇孝<sup>9)</sup>、後藤智己<sup>9)</sup>、森戸克則<sup>9)</sup>

- 1) 埼玉県立大学保健医療福祉学部
- 2) 三重県立看護大学成人看護学
- 3) 埼玉大学教育学部
- 4) 大阪市立大学大学院生活科学研究科
- 5) 東京大学大学院医学系研究科健康社会学
- 6) 日本学術振興会
- 7) 大阪大学大学院総合ヘルスプロモーション科学
- 8) 東洋大学ライフデザイン学部
- 9) 薬害 HIV 感染被害者 (患者・家族) 生活実態調査委員会

O-270 薬害 HIV 感染被害者 (生存患者および家族) への質問紙調査

第 3 報：二次・三次感染に関する問題

関由起子<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>2)</sup>、若林チヒロ<sup>3)</sup>、清水由香<sup>4)</sup>、  
溝田友里<sup>5)</sup>、八巻知香子<sup>6)</sup>、山崎喜比古<sup>5)</sup>、  
伊藤美樹子<sup>7)</sup>、的場智子<sup>8)</sup>、大平勝美<sup>9)</sup>、小山昇孝<sup>9)</sup>、  
後藤智己<sup>9)</sup>、森戸克則<sup>9)</sup>

- 1) 埼玉大学教育学部
- 2) 三重県立看護大学成人看護学
- 3) 埼玉県立大学保健医療福祉学部
- 4) 大阪市立大学大学院生活科学研究科
- 5) 東京大学大学院医学系研究科健康社会学
- 6) 日本学術振興会
- 7) 大阪大学大学院総合ヘルスプロモーション科学
- 8) 東洋大学ライフデザイン学部
- 9) 薬害 HIV 感染被害者 (患者・家族) 生活実態調査委員会

O-271 薬害 HIV 感染被害者 (生存患者および家族) への質問紙調査 第 4 報：患者と家族の偏見・差別  
清水由香<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>2)</sup>、若林チヒロ<sup>3)</sup>、関由起子<sup>4)</sup>、  
溝田友里<sup>5)</sup>、八巻知香子<sup>6)</sup>、山崎喜比古<sup>5)</sup>、  
伊藤美樹子<sup>7)</sup>、的場智子<sup>8)</sup>、大平勝美<sup>9)</sup>、花井十伍<sup>9)</sup>、  
小山昇孝<sup>9)</sup>、後藤智己<sup>9)</sup>、森戸克則<sup>9)</sup>

- 1) 大阪市立大学大学院生活科学研究科
- 2) 三重県立看護大学成人看護学
- 3) 埼玉県立大学保健医療福祉学部
- 4) 埼玉大学教育学部
- 5) 東京大学大学院医学系研究科健康社会学
- 6) 日本学術振興会
- 7) 大阪大学大学院総合ヘルスプロモーション科学
- 8) 東洋大学ライフデザイン学部
- 9) 薬害 HIV 感染被害者 (患者・家族) 生活実態調査委員会

# 一般演題

## O-272 薬害 HIV 感染被害者（生存患者および家族）への質問紙調査

—第5報：患者の恋愛・結婚、性、および挙子に関して—  
溝田友里<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>2)</sup>、清水由香<sup>3)</sup>、若林チヒロ<sup>4)</sup>、  
関由起子<sup>5)</sup>、八巻知香子<sup>6)</sup>、山崎喜比古<sup>1)</sup>、  
伊藤美樹子<sup>7)</sup>、的場智子<sup>8)</sup>、大平勝美<sup>9)</sup>、小山昇孝<sup>9)</sup>、  
後藤智巳<sup>9)</sup>、森戸克則<sup>9)</sup>

- 1) 東京大学大学院医学系研究科健康社会学
- 2) 三重県立看護大学成人看護学
- 3) 大阪市立大学大学院生活科学研究科
- 4) 埼玉県立大学保健医療福祉学部
- 5) 埼玉大学教育学部
- 6) 日本学術振興会
- 7) 大阪大学大学院総合ヘルスプロモーション科学
- 8) 東洋大学ライフデザイン学部
- 9) 薬害 HIV 感染被害者（患者・家族）生活実態調査委員会

## O-273 薬害 HIV 感染被害者（生存患者および家族）への質問紙調査

第6報：妻における結婚と性と挙子に関して  
八巻知香子<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>2)</sup>、若林チヒロ<sup>3)</sup>、  
関由起子<sup>4)</sup>、清水由香<sup>5)</sup>、溝田友里<sup>6)</sup>、山崎喜比古<sup>6)</sup>、  
伊藤美樹子<sup>7)</sup>、的場智子<sup>8)</sup>、大平勝美<sup>9)</sup>、小山昇孝<sup>9)</sup>、  
後藤智巳<sup>9)</sup>、森戸克則<sup>9)</sup>

- 1) 日本学術振興会
- 2) 三重県立看護大学成人看護学
- 3) 埼玉県立大学保健医療福祉学部
- 4) 埼玉大学教育学部
- 5) 大阪市立大学大学院生活科学研究科
- 6) 東京大学大学院医学系研究科健康社会学
- 7) 大阪大学大学院総合ヘルスプロモーション科学
- 8) 東洋大学ライフデザイン学部
- 9) 薬害 HIV 感染被害者（患者・家族）生活実態調査委員会

■日時：12月2日(土)13:00～13:50

■会場：学術総合センター（G会場）

### 液性因子

座長 高橋 秀実

(日本医科大学 微生物学免疫学教室)

## O-274 Seminal Fluid Enhances Dendritic Cell Transfer of HIV-1 to T Cells

森内浩幸、森内昌子

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻

## O-275 Human Milk Whey Enhances Susceptibility of Cord Blood Mononuclear Cells to HIV-1 Infection

森内昌子、森内浩幸

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻

## O-276 HIV-1 感染者由来 CD4 陽性 T 細胞株の産生する抗 HIV-1 液性因子

山下篤哉<sup>1)</sup>、照沼 裕<sup>2)</sup>、トウ学文<sup>2)</sup>、高嶋能文<sup>3)</sup>、  
三間屋純一<sup>3)</sup>、花房秀次<sup>4)</sup>、岡 慎一<sup>5)</sup>、酒井道生<sup>6)</sup>、  
白幡 聡<sup>6)</sup>、藤井輝久<sup>7)</sup>、石川正明<sup>8)</sup>、高橋義博<sup>9)</sup>、  
池田柁一<sup>10)</sup>、三浦琢磨<sup>11)</sup>、松田重三<sup>12)</sup>、  
田中勇悦<sup>13)</sup>、葛西宏威<sup>1)</sup>、加藤伊陽子<sup>1)</sup>、  
山本直樹<sup>13)</sup>、伊藤正彦<sup>1)</sup>

- 1) 山梨大学大学院 医学工学総合研究部 微生物学
- 2) 日本バイオセラピー研究所
- 3) 静岡県立こども病院
- 4) 荻窪病院
- 5) 国立国際医療センターエイズ治療研究センター
- 6) 産業医科大学
- 7) 広島大学医学部
- 8) 東北大学医学部
- 9) 大館市立総合病院
- 10) 佐世保市立病院
- 11) 芳賀赤十字病院
- 12) 帝京大学医学部
- 13) 琉球大学医学部
- 14) 国立感染症研究所

## O-277 樹状細胞を用いて誘導した IL-10 産生 Treg 細胞のマクロファージへの R5 HIV-1 感染抑制

張 麗峰、児玉 晃、近藤佳代、田中礼子、  
大隈 和、田中勇悦

琉球大学大学院医学研究科免疫学分野

## O-278 ヒト血液脳関門構成細胞への HIV-1 感染性におよぼす血清の影響について

大上厚志、清水宣明、田中 淳、大槻貴博、  
星野洪郎

群馬大学大学院・医学系研究科・分子予防医学

# 一般演題

■日時：12月2日(土)14:00～15:00

■会場：学術総合センター（G会場）

## ワクチン

座長 俣野 哲郎

(東京大学医科学研究所感染症国際研究センター)

O-279 Molecular Mimicry of the 40s Loop of SDF-1  $\alpha$  by the V3 Region of HIV-1 gp120

木村哲也<sup>1)</sup>、CardozoTimothy<sup>2)</sup>、WangXiaohong<sup>3)</sup>、Zolla-PaznerSusan<sup>4)</sup>

- 1)熊本大学大学院医学薬学研究部感染防御学分野
- 2)Department of Pharmacology, New York University School of Medicine
- 3)New York Veterans Affairs Medical Center
- 4)Department of Pathology, New York University School of Medicine

O-280 Immune responses to HIV-1 envelope glycoprotein enhanced by repeated oral vaccination with MVA covalently attached to TMPEG-modified cationic liposomes

内藤俊夫<sup>1)</sup>、磯沼 弘<sup>1)</sup>、檀原 高<sup>1)</sup>、林田康男<sup>1)</sup>、金子有太郎<sup>2)</sup>、KozborDanuta<sup>3)</sup>

- 1)順天堂大学医学部総合診療科
- 2)近畿大学腫瘍免疫等研究所
- 3)Department of Immunology, Roswell Park Cancer Institute

O-281 HIV-1 感染を予防する中和抗体誘導型ワクチンの開発

吉田篤司、島田 勝、奥田研爾

横浜市立大学大学院医学研究科分子生体防御学講座

O-282 新規糖鎖欠失 SIV の性質とアカゲザルでの感染

杉本智恵<sup>1)</sup>、中山英美<sup>2)</sup>、塩田達雄<sup>2)</sup>、山本直樹<sup>3)</sup>、永井美之<sup>4)</sup>、森 一泰<sup>3)</sup>

- 1)JST, CREST
- 2)阪大・微研
- 3)感染研・エイズ研究センター
- 4)理研・感染症研究ネットワーク支援センター

O-283 アデノウイルス 5/35 (Ad5/35) とワクチニアウイルスアンカラ株 (MVA) ウイルスベクターを使用した SIV 感染アカゲザルの治療効果

島田 勝<sup>1)</sup>、吉田篤司<sup>1)</sup>、HuaBai<sup>2)</sup>、JialiLuo<sup>2)</sup>、HaibinWang<sup>2)</sup>、XuepengXu<sup>2)</sup>、本多三男<sup>3)</sup>、奥田研爾<sup>1)</sup>

- 1)横浜市立大学医学部微生物学教室
- 2)Zhejiang Hisun Group Co. LTD, China
- 3)国立感染症研究所

O-284 カニクイザルを用いた SIV gag および HIV env を発現する Ad5/35 ワクチンの有効性の検討

島田 勝<sup>1)</sup>、染谷健二<sup>2)</sup>、吉田篤司<sup>1)</sup>、本多三男<sup>2)</sup>、奥田研爾<sup>1)</sup>

- 1)横浜市立大学
- 2)国立感染症研究所

■日時：12月2日(土)13:00～13:50

■会場：学術総合センター（H会場）

## 日和見合併症 ウィルス

座長 中村 哲也

(東京大学医科学研究所 )

O-285 アフリカ、ケニアにおける HIV 感染と HPV 感染

山田里佳<sup>1)</sup>、市村 宏<sup>2)</sup>

- 1)石川県立中央病院
- 2)金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学

O-286 HIV 感染者における肛門ヒトパピローマウイルスサブタイプの検討（第一報）

山名哲郎<sup>1)</sup>、鈴木 克<sup>2)</sup>、柳 富子<sup>3)</sup>

- 1)社会保険中央総合病院大腸肛門病センター
- 2)社会保険中央総合病院臨床検査部
- 3)社会保険中央総合病院内科

O-287 HIV 感染者の性行為によるヒトパピローマウイルス感染対策の一考察

佐藤武幸<sup>1)</sup>、猪狩英俊<sup>1)</sup>、渡邊 哲<sup>1)</sup>、戸来依子<sup>1)</sup>、久保悦子<sup>1)</sup>、浦尾充子<sup>1)</sup>、難波江玲子<sup>1)</sup>、堤みどり<sup>1)</sup>、葛田衣重<sup>2)</sup>、石川雅子<sup>3)</sup>

- 1)千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部
- 2)千葉大学医学部附属病院地域医療連携部
- 3)千葉県健康福祉部疾病対策課感染症対策室派遣カウンセラー

O-288 HIV-1 感染症における HHV-8 DNA 測定

の臨床的意義の検討

南 留美、高濱宗一郎、山本政弘

独立行政法人国立病院機構九州医療センター

# 一般演題

O-289 著明な肝脾腫と全身性リンパ節腫脹をきたし、発熱、血小板減少および貧血の消長を繰り返した HIV 陽性 HHV-8 関連 Castleman 病の一例  
松村武史<sup>1)</sup>、藤井 毅<sup>1)</sup>、小柳津直樹<sup>2)</sup>、前田卓哉<sup>1)</sup>、古賀一郎<sup>1)</sup>、鯉淵智彦<sup>1)</sup>、遠藤宗臣<sup>1)</sup>、小田原隆<sup>1)</sup>、中村哲也<sup>1)</sup>、岩本愛吉<sup>1)</sup>

1) 東京大学医科学研究所付属病院感染免疫内科  
2) 東京大学医科学研究所付属病院検査部病理

■日時：12月2日(土)14:00～15:00

■会場：学術総合センター (H会場)

## 日和見合併症 抗酸菌

座長 安岡 彰

(長崎大学医学部歯学部附属病院 感染制御教育センター)

O-290 首都圏の結核診療機関での HIV 合併結核患者の現状

山崎明美<sup>1)</sup>、野内英樹<sup>2)</sup>

1) 財団法人結核予防会結核研究所リサーチフェロー  
2) 長崎大学熱帯医学研究所

O-291 HIV 感染者の結核感染診断に対するコンティフェロン TB-2G の検討

藤田 明<sup>1)</sup>、竹下 望<sup>2)</sup>、柳沢如樹<sup>2)</sup>、水澤昌子<sup>1)</sup>、畠山修司<sup>1)</sup>、菅沼明彦<sup>2)</sup>、今村頭史<sup>2)</sup>、味澤 篤<sup>2)</sup>、根岸昌功<sup>2)</sup>

1) 東京都立府中病院呼吸器科  
2) 東京都立駒込病院感染症科

O-292 結核性胸膜炎に結核性脊椎炎・流注膿瘍を合併した HIV 感染者の一例

渡辺恒二、神村麻穂子、中村匡宏、近江恭子、松村次郎、渡邊珠代、本田元人、阿部泰尚、矢崎博久、田沼順子、本田美和子、瀧永博之、源河いくみ、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

O-293 結核 (TB) および非結核性抗酸菌症 (NTM) 合併 HIV/AIDS 症例における抗レトロウイルス療法 (ART) 導入後の免疫再構築症候群 (IRS) に関する調査

小河原光正<sup>1)</sup>、木村 剛<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター総合内科  
2) 独立行政法人国立病院機構禁忌中央胸部疾患センター内科

O-294 当センターの HIV 感染者における非定型抗酸菌症例の検討

田沼順子、近江恭子、松村次郎、神村麻穂子、渡辺恒二、渡邊珠代、本田元人、中村匡宏、阿部泰尚、矢崎博久、本田美和子、源河いくみ、瀧永博之、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センターエイズ治療開発センター

O-295 肺 Mycobacterium genavense 感染症をきたした HIV 感染者の 1 例

宇野健司、古西 満、善本英一郎、笠原 敬、三笠桂一

奈良県立医科大学感染症センター

■日時：12月2日(土)15:00～15:40

■会場：学術総合センター (H会場)

## 日和見合併症 その他 II

座長 佐原 力三郎

(社会保険中央総合病院 )

O-296 エイズ診療拠点病院における HIV 陽性者肛門疾患の治療経験

宮崎道彦<sup>1)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、山本善彦<sup>2)</sup>、牧江俊雄<sup>2)</sup>、椎木創一<sup>2)</sup>、渡邊 大<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>、辻仲利政<sup>1)</sup>

1) 国立大阪医療センター外科  
2) 国立大阪医療センター免疫感染症科

O-297 肛門疾患の術前検査で診断された HIV 感染患者の現状

鈴木 克<sup>1)</sup>、山名哲郎<sup>2)</sup>、柳 富子<sup>3)</sup>、戸上陽子<sup>1)</sup>、佐原力三郎<sup>2)</sup>、岩井行一<sup>1)</sup>

1) 社会保険中央総合病院臨床検査部  
2) 社会保険中央総合病院大腸肛門病センター  
3) 社会保険中央総合病院内科

O-298 劇症型アメーバ赤痢腸炎にて大腸全摘、小腸亜全摘後に HAART を導入した HIV 感染患者の経験

小谷岳春<sup>1)</sup>、上田幹夫<sup>1)</sup>、山田三枝子<sup>2)</sup>、山崎雅英<sup>3)</sup>、青木 眞<sup>4)</sup>

1) 石川県立中央病院血液免疫内科  
2) 石川県立中央病院 (エイズ予防財団リサーチレジデント)  
3) 金沢大学病院血液内科  
4) サクラ精機株式会社

# 一般演題

O-299 偽膜性腸炎とアメーバ赤痢を併発した HIV 陽性患者の一症例  
松浦基夫  
市立堺病院腎代謝免疫内科

■日時：12月2日(土)15:40～16:30  
■会場：日本教育会館 (D会場)

## 歯科 I

座長 池田 正一  
(神奈川歯科大学)

O-300 研修歯科医の HIV 感染症と歯科医療に関する認識および関心事項の調査  
鈴木治仁<sup>1)</sup>、内田博文<sup>2)</sup>、升谷滋行<sup>2)</sup>、紙本 篤<sup>2)</sup>、  
原田大輔<sup>2)</sup>、関 啓介<sup>2)</sup>、久村智子<sup>2)</sup>、片山一郎<sup>2)</sup>  
1) 東京 HIV デンタルネットワーク、鈴木歯科クリニック  
2) 日本大学歯学部付属歯科病院研修診療部卒直後研修科

O-301 北海道における HIV 等ウイルス感染者に対する歯科医師の意識調査  
巢山 達  
千葉歯科クリニック

O-302 拠点病院 歯科における Standard Precautions の現状 (再調査結果)  
前田憲昭<sup>1)</sup>、池田正一<sup>2)</sup>、宇佐美雄司<sup>3)</sup>、  
泉福英信<sup>4)</sup>  
1) 医療法人社団皓歯会  
2) 神奈川歯科大学  
3) 刈谷総合病院  
4) 国立感染症研究所

O-303 HIV / AIDS 感染者・患者の歯科治療に対する意識調査  
小林成文、明 正孝、篠塚恵造、贄川勝吉、  
蛭名勝之、花岡新八、中野雅昭、澤 悦夫、  
鈴木治仁  
東京 HIV デンタルネットワーク

O-304 HIV 感染者における、歯科治療継続群・  
中断群間での口腔診査要因の検定  
溝部潤子、前田憲昭  
医療法人社団皓歯会

■日時：12月2日(土)16:40～17:40  
■会場：日本教育会館 (D会場)

## 歯科 II

座長 前田 憲昭  
(医療法人社団皓歯会)

O-305 国立国際医療センター歯科受診時における HIV 感染患者の口腔衛生状態  
中川裕美子<sup>1)</sup>、田上 正<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>  
1) 国立国際医療センター財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント  
2) 国立国際医療センター歯科口腔外科  
3) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

O-306 HIV 感染患者の歯科受診時における口腔衛生状態  
宮田 勝<sup>1)</sup>、  
池田正一<sup>2)</sup>、北川善政<sup>3)</sup>、山口 泰<sup>4)</sup>、柿澤 卓<sup>5)</sup>、  
小森康雄<sup>6)</sup>、高木律男<sup>7)</sup>、玉城廣保<sup>8)</sup>、連 利隆<sup>9)</sup>、  
吉野 宏<sup>10)</sup>、吉川博政<sup>11)</sup>、樋口勝規<sup>13)</sup>、  
前田憲昭<sup>13)</sup>  
1) 石川県立中央病院  
2) 神奈川歯科大学  
3) 北海道大学  
4) 国立仙台医療センター  
5) 東京歯科大学  
6) 東京医科大学  
7) 新潟大学  
8) 国立名古屋医療センター  
9) 大阪市立総合医療センター  
10) 広島大学  
11) 国立九州医療センター  
12) 九州大学  
13) 医療法人社団皓歯会

O-307 唾液中の HIV DNA の定量  
田上 正<sup>1)</sup>、北川善政<sup>2)</sup>、連 利隆<sup>3)</sup>、池田正一<sup>4)</sup>、  
加藤真吾<sup>5)</sup>、田中理恵<sup>5)</sup>、前田憲昭<sup>6)</sup>  
1) 国立国際医療センター  
2) 北海道大学  
3) 大阪市立総合医療センター  
4) 神奈川歯科大学  
5) 慶應義塾大学  
6) 医療法人社団皓歯会

O-308 HIV 感染者における歯周病治療の 1 例  
～地域歯科診療所との連携の可能性について～  
千葉 緑<sup>1)</sup>、田中理沙<sup>1)</sup>、池上由美子<sup>1)</sup>、  
筋生田整治<sup>1)</sup>、茂木伸夫<sup>1)</sup>、菅沼明彦<sup>2)</sup>  
1) 東京都立駒込病院歯科口腔外科  
2) 東京都立駒込病院感染症科

# 一般演題

## O-309 病診病連携により入院処置を行った HIV 感染者顎嚢胞の1例

高久勇一郎<sup>1)</sup>、柿澤 卓<sup>1)</sup>、小林弥生<sup>1)</sup>、鈴木治仁<sup>2)</sup>、  
岩本愛吉<sup>3)</sup>

- 1) 東京歯科大学水道橋病院口腔健康臨床科学講座口腔外科学  
分野 東京歯科大学水道橋病院口腔外科
- 2) 東京 HIV デンタルネットワーク
- 3) 東京大学医科学研究所付属病院 感染免疫内科

## O-310 口蓋カポジ肉腫の軽減後、義歯作成により 咀嚼障害を改善した1症例

茂木伸夫<sup>1)</sup>、柳澤如樹<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>1)</sup>

- 1) 東京都立駒込病院歯科口腔外科
- 2) 東京都立駒込病院感染症科
- 3) 東京都立駒込病院感染症科